

National Institute of Technology, Toyama College

平成28年度 学校要覧



教育理念

創意・創造
自主・自律
共存・共生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的
社会といったメッセージがこめられています。組み
合わさって表現される形は、アルファベットのTをイ
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同
時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)の
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝
池辺晋一郎
曲 詩

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎でともに手を取り

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春をともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代をともに支えて



本郷キャンパス



射水キャンパス

目次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	6
3 学科紹介	8
4 専攻科紹介	23
5 教員名簿	26
6 製品開発・社会貢献本部	32
7 主要施設	34
8 学生生活	36
9 地域社会との連携	40
10 研究活動	42
11 国際交流活動	43
12 財務状況	45
13 在学状況	47
14 進路状況	48

1 学校紹介

■ 校長あいさつ



校長 石原 外美

皆様方にはますますご健勝のこととお慶びを申し上げます。平素より、富山高専の教育研究活動、そして学校運営に対し、格別のご理解とご支援を頂いていることに、先ずは厚く御礼を申し上げます。

さて、現在の日本は少子化、財政難などの諸課題に苦しみ、その解決が迫られています。また最近における社会の急激な変化、あるいはまた熊本県を中心に起こった地震被害等、対策と解決が急務となっています。これらの対策・解決に当たって、必要な人材を養成・確保することの重要性については、論を待たないところです。

さて、現在、「モノづくり」の重要性については、改めて言う必要がないほど社会における認知度が高まっていますが、最近「第4次産業革命」という言葉を頻繁に聞くようになりました。これは、①18世紀後半に起こった機械化によるモノづくり（第1次産業革命）、②19世紀後半の電力活用による大量生産によるモノづくり（第2次産業革命）、そして、③20世紀後半に起こった自動化技術によるモノづくり（第3次産業革命）に続く概念として提案されたものです。④「第4次産業革命」は、IoT（Internet of Things）とIoS（Internet of Services）の連携のもとに、モノづくりの高度化を目指そうというものです。最初にドイツが戦略的プロジェクトとして始め、その後、インドと米国が後を追うように進めています。日本も、最近、国家プロジェクトとして「第4次産業革命」の推進を戦略の中心として掲げています。

さて、既述しましたが、希望に満ちた日本の新しい未来を拓くために、社会から、大学・高等専門学校等の高等教育機関に対し、科学技術振興によるイノベーション創出と、これに貢献でき、かつグローバルな視点をもって活躍できる有為な人材養成が強く求められています。このことは、上記の「第4次産業革命」に代表されるような国家的規模の事業においても同様であり、事業の推進に貢献できる人材がいなければ何事も始まりません。

富山高等専門学校では、3つの教育理念を掲げ人材養成に取り組んでいます。すなわち、第一に、「創意・創造」、第二に「自主・自律」、そして第三に「共存・共生」です。

本校では、以上の教育理念の下、本科では、人文科学、並びに社会科学を含めた一般教養に関する授業、専門分野における実験・実習、それから演習を多く取り入れた授業など、学生の理解を深め、そして実践力を身に付けるため、五年一貫の教育を行っています。

工学系の4学科にあっては、業界のニーズに適合した幅広い分野の基礎技術と問題解決力等を身に付けた技術者の育成、国際ビジネス学科にあっては、地域社会並びに地域産業に貢献できるビジネスパーソンの育成、そして商船学科にあっては、我が国の海運界を担う船舶職員として活躍できる人材の育成を行っています。いずれの分野においても、グローバルな視点を持った国際的に活躍できる人材の育成を行うために、アメリカ、ヨーロッパ、アジアに所在する本校と強い関係にある高等教育機関と連携して、海外研修、異文化体験、海外インターンシップ等を行っています。

これまで、本科卒業生の約半数が、国立大学への編入学、あるいは本校の専攻科へ進学し、残り半数が企業に就職しています。専攻科では七年一貫の人間力、問題解決力、グローバル力を重視した教育を実施しています。専攻科修了後は大学卒と同じ学士号が取得できます。修了生の約半数が大学院修士課程へ進学し、約半数が企業へ就職しています。

富山高等専門学校は、(1)教育・研究内容の高度化、(2)国際的に活躍できるグローバル人材の育成、(3)専攻科の充実と強化、そして(4)共同研究、技術相談を通じた地域社会への貢献を、重点目標として掲げ、これらに取り組んでいるところです。本要覧には、最近における本校の実績が掲載されていますので、ご高覧賜れば幸いです。

お陰様で、上記(1)～(4)の目標において、指標となる、科学研究費採択件数、企業との共同研究件数、学生・教職員の国際交流実績等において、客観的に見て確実に良い成果をあげています。今後、さらに上記目標を進め、成果をあげるためには、地域の皆様方との連携強化が極めて重要であると認識しています。

富山高等専門学校は、地域の皆様に愛され、そして信頼される高等教育機関となるよう、教職員一同、一丸となって努力して参ります。どうぞ、皆様方からのご指導、ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■本校の教育目標

1「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

■準学士課程(本科)アドミッションポリシー(求める学生像および入学者選抜の基本方針)

本校では、環日本海地域を中心とした地球的な視点に立ち、充実した教養教育や実践的な専門教育により、学生一人ひとりの個性を尊重し、専門知識・技術を身につけ、その能力を育成することを目指しています。

このような方針に基づき、各学科では人・社会・自然・環境に思いやりのある、次のような学生を求めます。

機械システム工学科

求める学生像

- 1 機械・構造物、機械システムに興味がある人
- 2 想像力豊かな機械技術者になりたい人
- 3 エネルギーからリサイクルまでのシステムを創造し、社会に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

電子情報工学科

求める学生像

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の総合技術を身につけたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって、社会に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

電気制御システム工学科

求める学生像

- 1 電子工作や機械工作などのものづくりに興味がある人
- 2 ロボット技術のように電気、機械、情報技術を融合した知識を身につけたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

国際ビジネス学科

求める学生像

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身につけたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

物質化学工学科

求める学生像

- 1 化学の世界に興味を持っている人
- 2 地球と人にやさしいものづくりをしたい人
- 3 持続的社会的構築に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

商船学科

求める学生像

- 1 海や自然が好きの人
- 2 大型船の船長や機関長をめざす人
- 3 大きな機械のエンジニアをめざす人
- 4 世界中の国々で活躍したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

専攻科アドミッションポリシー

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を目指しています。このような方針に基づき、専攻科では次のような学生を求めています。

求める学生像（専攻科共通）

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身につけたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜

推薦による選抜：

推薦書、調査書および面接検査（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。

学力検査による選抜：

エコデザイン工学専攻・制御情報システム工学専攻・海事システム工学専攻

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、数学、専門科目）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。

国際ビジネス学専攻

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、専門科目）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。

社会人特別選抜：

学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、専門科目）、調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。面接においては、受験者が専攻科入学後に行いたい研究、もしくはそれに関連する実務経験について、パワーポイント等を用いて5分程度のプレゼンテーションを行い、その発表内容に関連した事項についての口頭試問を課します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

専門技術と知識を体系的に修得するため、各専攻希望の学生は、原則として次の学科を卒業又は卒業見込みの者、又は同等の内容のカリキュラムを実施している学科で学修した者とします。

- ・エコデザイン工学専攻：機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科
- ・制御情報システム工学専攻：電子情報工学科
- ・国際ビジネス学専攻：国際ビジネス学科
- ・海事システム工学専攻：商船学科

高専本科で開講されている一般教養科目および専門科目ともに重要ですので、同等の基礎学力をきちんと習得してください。特に、学力検査で課している科目においては、入学後の各専攻における講義・演習・実験および研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけてください。

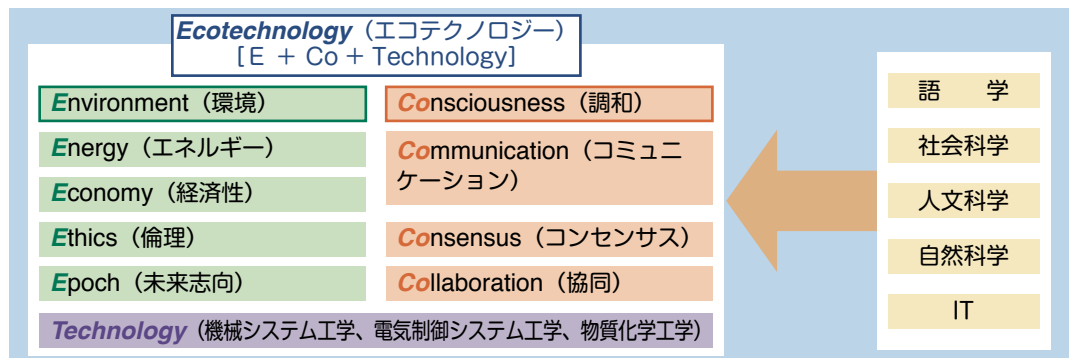
JABEE対応教育プログラム

本校専攻科の「エコデザイン工学専攻」及び「制御情報システム工学専攻」では、日本技術者教育認定機構（JABEE）が認める以下の技術者教育プログラムを設定しています。

それぞれの専攻に入学した学生は各教育プログラムの履修者となり、本科および専攻科の指定された科目を修得することでJABEE修了要件を満たせば、技術士補の申請資格を得ることができます。各プログラムの内容及び学位取得を含む修了要件等、詳しくはそれぞれのキャンパスのホームページでも紹介しています。

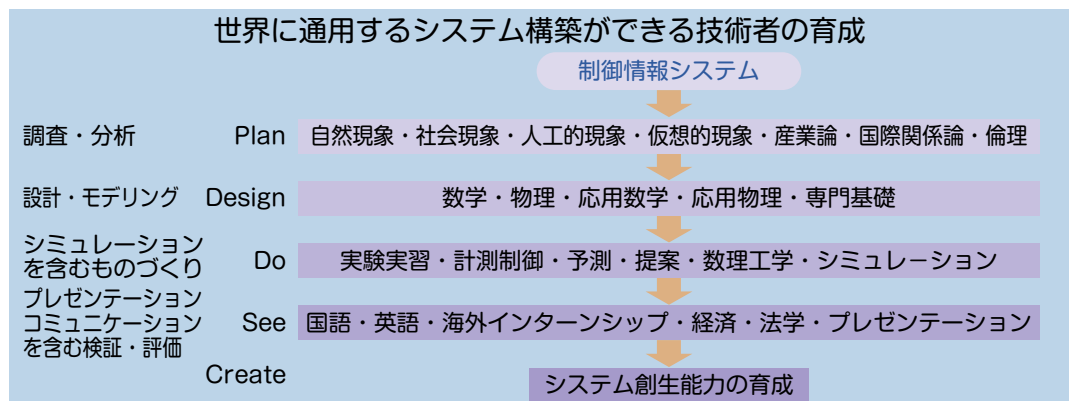
エコデザイン工学プログラム

エコデザイン工学専攻では、本郷キャンパス機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科3学科の4、5年と専攻科エコデザイン工学専攻を複合した「エコデザイン工学」教育プログラムを設定しています。



制御情報システム工学プログラム

制御情報システム工学専攻では、射水キャンパス電子情報工学科4、5年生からの一貫した「制御情報システム工学」教育プログラムを設定しています。



■教育システムに関する外部（第三者）評価

1 大学評価・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山商船高等専門学校では平成17年度に、また、富山工業高等専門学校では平成19年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保證すること。
2. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
3. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書(評価結果)及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

2 大学評価・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は6学科に対応する4専攻(エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻)からなる専攻科を設置しています。専攻科の教育システムは、5年間に一度、大学評価・学位授与機構による審査を受けることになっており、本校専攻科は、統合した平成21年度に審査を受け、認定されました。

エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻の4専攻が大学評価・学位授与機構から学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けています。これにより、エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、及び海事システム工学専攻は、平成26年度入学生から、国際ビジネス学専攻は、平成27年度入学生から、当該専攻の最終学年に在学し、当該学年末に修了の見込み者が行う学士の学位の授与申請については、学修成果に関する試験が免除され、提出書類が簡略化されています。

※特例の適用認定とは、「短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に関する規則」第2条の規定に基づき認定された専攻科（「認定専攻科」という。）のうち、「学位規則第6条1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」に定める要件を満たせば、学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科（「特例適用専攻科」という。）になることです。

3 日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査

準学士課程4、5年と専攻科を合わせた教育プログラムの、日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定審査について、平成16年度に機械工学科、電気工学科、物質工学科、環境材料工学科及び専攻科で「エコデザイン工学プログラム」について認定を受け、平成21年度の継続審査で再認定を受けています。また、平成27年度には、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科及び専攻科の構成で同専攻として再認定を受けています。

また、平成20年度に電子制御工学科、情報工学科及び専攻科で「制御情報システム工学プログラム」について認定を受け、平成26年度に電子情報工学科及び専攻科の継続審査で再認定を受けています。

4 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは卒業時の海技士資格(国際標準)取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。富山高等専門学校の商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

■ 本校の沿革

旧 富山工業高等専門学校

- 昭和39年 4月 富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
- 昭和44年 4月 金属工学科設置
- 平成元年 4月 工業化学科を物質工学科に改組
- 平成5年 4月 専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
- 平成6年10月 富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94開催
- 平成7年 4月 金属工学科を環境材料工学科に改組
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 5月 JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
- 平成19年10月 第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校機構 主管：富山工業高等専門学校）
- 平成19年11月 財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターによるエコアクション21 認証・登録
- 平成20年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

旧 富山商船高等専門学校

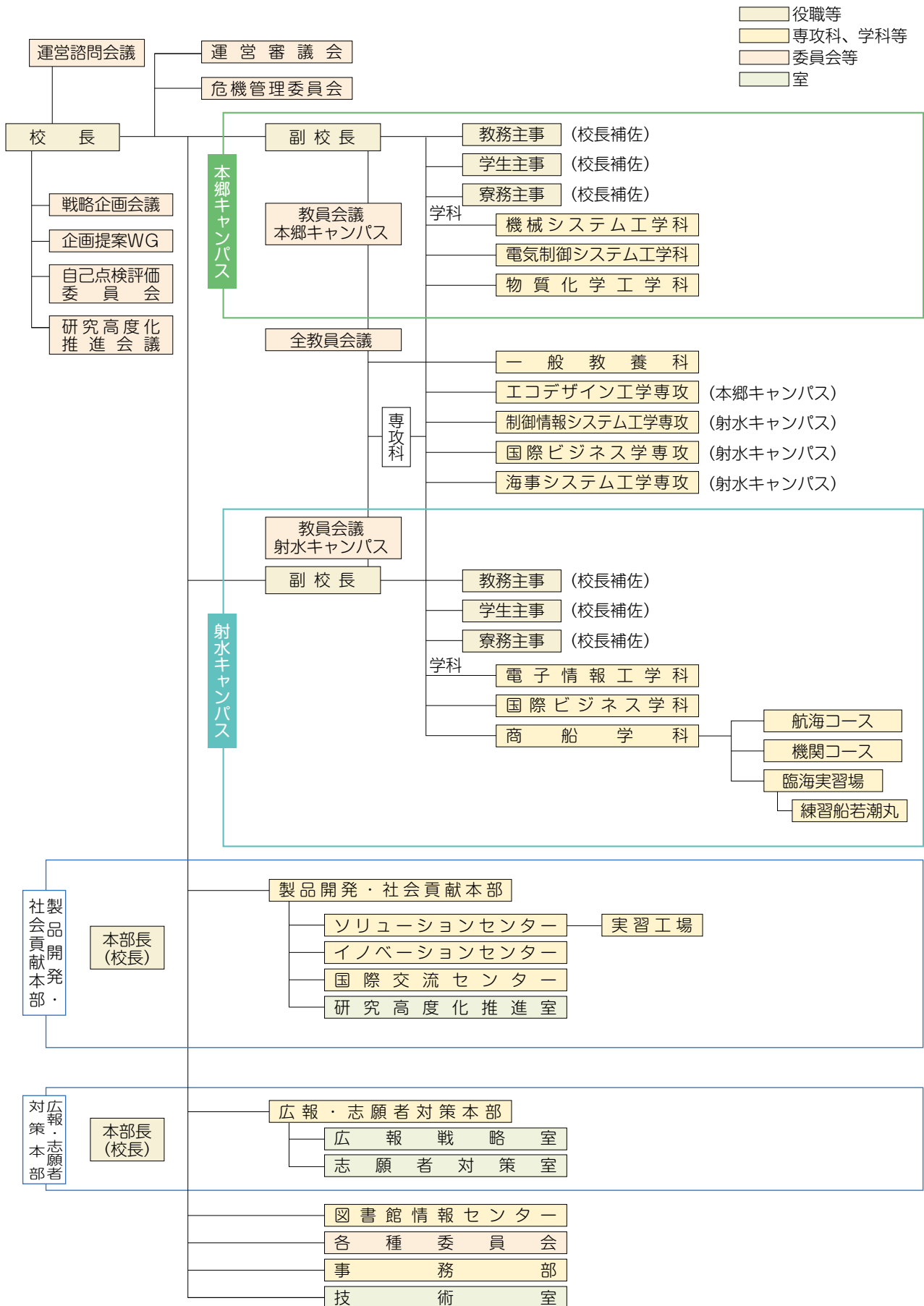
- 明治39年 7月 新湊町立新湊甲種商船学校創立
- 明治42年 4月 富山県へ移管、富山県立商船学校となる
- 昭和14年 8月 文部省へ移管、富山商船学校となる
- 昭和17年 1月 逓信省所管となる
- 昭和18年11月 運輸通信省所管となる
- 昭和20年 5月 運輸省所管となる
- 昭和26年 4月 文部省へ移管、富山商船高等学校となる
- 昭和42年 6月 富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
- 昭和44年 4月 現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科1学級増
- 昭和60年 4月 航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
- 昭和63年 4月 航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
- 平成8年 4月 国際流通学科設置
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 4月 専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
- 平成18年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 平成18年10月 創立100周年記念式典を挙げる
- 平成21年 4月 JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

富山高等専門学校

- 平成21年10月 富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科）
- 平成22年 4月 新学科生、専攻科生受入
- 平成27年 3月 第1回卒業式、修了式挙げる
- 平成27年10月 創立50周年・創基110周年記念式典を挙げる

2 組織

組織図



■ 役職者名簿

校長	石原 外美
副校長（本郷）	西田 均
副校長（射水）	新開 純子

■ 本郷キャンパス

教務主事（校長補佐）	寺西 恒宣
学生主事（校長補佐）	青山 晶子
寮務主事（校長補佐）	櫻井 豊
機械システム工学科長	岡根 正樹
電気制御システム工学科長	西 敏行
物質化学工学科長	後藤 道理

■ 射水キャンパス

教務主事（校長補佐）	中谷 俊彦
学生主事（校長補佐）	塚田 章
寮務主事（校長補佐）	梅 伸司
電子情報工学科長	水本 巖
国際ビジネス学科長	西原 雅博
商船学科長	水谷淳之介
航海コース主任	千葉 元
機関コース主任	水谷淳之介
臨海実習場長	千葉 元
練習船若潮丸船長	中川 宏司

■ 専攻科

専攻科長（校長補佐）	高田 英治
副専攻科長（本郷キャンパス）	高田 英治
副専攻科長（射水キャンパス）	阿蘇 司

■ 一般教養科

一般教養科長	高熊 哲也
本郷キャンパス主任	高熊 哲也
射水キャンパス主任	河合 均

■ 製品開発・社会貢献本部

製品開発・社会貢献本部長	石原 外美
ソリューションセンター長	西田 均
イノベーションセンター長	袋布 昌幹
国際交流センター長	保前 友高

■ 広報・志願者対策本部

広報・志願者対策本部長	石原 外美
広報戦略室長	佐藤 圭祐
志願者対策室長	河合 孝恵

■ 図書館情報センター

図書館情報センター長	川淵 浩之
副センター長（本郷キャンパス）	川淵 浩之
副センター長（射水キャンパス）	椎名 徹

■ 事務部

事務部長	林 興一
総務課長	小林 正幸
管理課長	西野 伸一
学務課長	石田 芳邦
学生課長	山田 豊

■ 技術室

技術室長	西田 均
------	------

■ 教職員の現員

平成28年5月1日

■ 教職員等数

教	校 長	1
	教 授	50
	准 教 授	52
	講 師	5
	助 教	19
員	助 手	1
	小 計	128
	事 務 員	60
職	技 術 員	25
	小 計	85
	合 計	213
特 命 フ ェ ロ ー		7

■ 所属別教員数

学	機械システム工学科	14
	電気制御システム工学科	16
	物質化学工学科	16
	電子情報工学科	14
	国際ビジネス学科	12
	商 船 学 科	16
	一般教養科（本郷）	15
	一般教養科（射水）	15
	センター専任	5
	練習船若潮丸	4
合 計	127	
特 命 フ ェ ロ ー		7

3 学科紹介

■ 機械システム工学科

「機械」で未来を動かそう！

世の中にまだ無いものを作ることに興味はありませんか？

人の役に立つものを作ることに興味はありませんか？

製作することが困難であればあるほど、できた時の達成感は大きくなります。

一緒に「機械の英知」で未来を動かしてみませんか。

そのような学生を私たちは待っています。



機械システム工学科

教育目標

ものづくりや生産技術の基盤となる機械工学の知識を総合的に身につけ、機器設計、技術開発等を手がける技術者を育成します。

機械とシステム、機械材料、設計と生産、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御に関する知識と、それらを問題解決に応用できる技術者を育成します。

機械工学的に考察する能力を身につけ、基礎からシステム構築までの総合的な見地から、新技術や新材料の開発・応用へと展開できる創造性・探究心豊かな技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	工業力学Ⅰ	1		1				
	工作実習Ⅰ	1		1				
	基礎工学実験Ⅰ	1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1			1			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	熱力学Ⅰ	1			1			
	工作実習Ⅱ	2			2			
	基礎工学実験Ⅱ	2			2			
	流体工学Ⅰ	1				1		
	基礎研究Ⅰ	1				1		
	システム工学実験Ⅰ	1				1		
システム工学実験Ⅱ	1				1			
安全工学	1					1		
システム工学実験Ⅲ	1					1		
卒業研究	12					12		
計	33	5	3	7	4	14		
選択科目	工業力学Ⅱ	1		1				
	工業力学演習	1		1				
	機械製図	2		2				
	実践ものづくり工学	1		1				
	情報処理Ⅰ	1		1				
	エネルギー機械	1			1			
	応用物理Ⅰ	2			2			
	基礎材料工学Ⅱ	1			1			
	材料力学Ⅱ	1			1			
	製造と加工Ⅰ	1			1			
	機械構造Ⅰ	1			1			
	設計製図	1			1			
	情報処理Ⅱ	1			1			
	熱力学Ⅱ	2				2		
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	電気・電子回路	1				1		
	機械計測工学	1				1		
	材料力学Ⅲ	1				1		
	システム設計Ⅰ	1				1		
	実用技術英語Ⅰ	1				1		
	製造と加工Ⅱ	1				1		
	鉄鋼材料	1				1		
	材料分析工学	1				1		
	流体工学Ⅱ	1				1		
	非鉄金属材料	1				1		
	機械力学	1				1		
	プログラミング基礎	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	材料プロセス	1				1		
	伝熱工学	1				1		
	反応熱力学	2				2		
	要素設計	1				1		
インターンシップ	2				2			
制御工学Ⅰ	1					1		
材料物性Ⅰ	1					1		
実用技術英語Ⅱ	1					1		
環境強度Ⅰ	1					1		
シミュレーション工学	1					1		
生産・品質管理	1					1		
応用数学Ⅳ	1					1		
振動工学	2					2		
材料物性Ⅱ	2					2		
環境強度Ⅱ	1					1		
有機材料	1					1		
流体機械	1					1		
熱機関	1					1		
制御工学Ⅱ	1					1		
強度設計	1					1		
製造と加工Ⅲ	1					1		
応用プログラミング	1					1		
材料強度学	1					1		
機械システム工学特論	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

電気工学と機械工学の融合

夢のようなテクノロジーを実現できるエンジニアへ

電気、機械、情報の3分野をバランスよく学び、

実験・実習を通して、

それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた

実践的な技術者を育成します。

卒業後は、電気技術者、機械技術者、または、それらを融合した

ロボットなどを開発する技術者など、幅広い進路の選択が可能です。



電気制御システム工学科

教育目標

電気、機械、情報工学を総合的に身につけ、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

工学の柱である電気と機械の専門知識を統合し、活用できる技術者を育成します。

電気工学的、機械工学的に考える能力を身につけ、数学、物理、化学に基づいた、「ものづくり」ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	基礎電気工学	2		2				
	情報処理	2		2				
	設計製図Ⅰ	2		2				
	ものづくり工学	1		1				
	基礎工学実験	2		2				
	システム工学実験Ⅰ	2			2			
	システム工学実験Ⅱ	2				2		
	基礎研究	1				1		
システム工学実験Ⅲ	1					1		
卒業研究	12					12		
計	32	5	9	2	3	13		
選択科目	応用物理Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気回路Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	コンピュータサイエンス	2			2			
	設計製図Ⅱ	2			2			
	工業力学	2			2			
	メカトロ基礎工学	2			2			
	計測工学Ⅰ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	工業英語Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電気磁気学Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅱ	2				2		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気機械Ⅰ	2				2		
	電子回路Ⅱ	1				1		
	電子回路Ⅲ	1				1		
	計算機システムⅠ	1				1		
	計算機システムⅡ	1				1		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1				1		
	流体力学Ⅰ	1				1		
	熱力学Ⅰ	1				1		
	機械工作法	1				1		
	材料力学Ⅰ	2				2		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	メカトロ創造設計	2				2		
	インターンシップ	2				2		
応用数学Ⅳ	1					1		
工業英語Ⅱ	1					1		
電気材料	2					2		
電気機械Ⅱ	2					2		
パワーエレクトロニクス	1					1		
電子工学Ⅰ	1					1		
電子工学Ⅱ	1					1		
通信工学	2					2		
計測工学Ⅱ	1					1		
制御工学Ⅲ	1					1		
シミュレーション工学	2					2		
システム工学	1					1		
ロボット工学Ⅰ	1					1		
ロボット工学Ⅱ	1					1		
機械力学Ⅰ	2					2		
機械力学Ⅱ	2					2		
流体力学Ⅱ	1					1		
熱力学Ⅱ	1					1		
CAD/CAM工学	2					2		
材料学	2					2		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

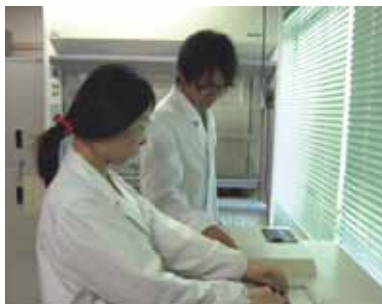
■物質化学工学科

化学のおもしろさと出会いながら 実験を通して確かな技術と知識を

化学・生物化学を中心とした学科です。

有機化学・無機化学・生物化学を代表とする中心的基礎科目は講義と実験の二本立ての授業を行うことにより確かな知識と基礎的技術が修得できます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等に関する最先端の知識と技術を修得することにより、化学・医薬品工業分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



物質化学工学科 教育目標

化学・生物化学を基礎として、ナノマテリアル・機能性材料・高分子材料・エコテクノロジー等の幅広い分野に関する知識と最先端技術に関する深い知識を備えた技術者を育成します。

環境に配慮した有機・無機材料やエネルギー関連物質および環境保全技術の開発・改良を自ら企画・実行できる能力と高い技術者倫理を身につけた技術者を育成します。

地域の重要産業である化学・医薬品工業および高分子工業の発展と持続的社會構築および環日本海環境の保全・改善に貢献できる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	物質化学基礎実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	分析化学実験	3		3				
	有機化学実験	2			2			
	無機化学実験	2			2			
	物理化学実験	2			2			
	特別実験	1			1			
	化学工学実験	2				2		
	生物化学実験	2				2		
基礎研究	1				1			
卒業研究	12					12		
計	32	5	3	7	5	12		
選択科目	有機化学Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅱ	1		1				
	無機化学Ⅰ	2		2				
	分析化学Ⅰ	1		1				
	生物化学	1		1				
	情報処理Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅲ	1			1			
	分析化学Ⅱ	1			1			
	基礎化学工学	2			2			
	基礎生物化学	2			2			
	無機化学Ⅱ	1			1			
	無機化学Ⅲ	1			1			
	物理化学Ⅰ	2			2			
	情報処理Ⅱ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	有機化学Ⅳ	1				1		
	有機化学Ⅴ	1				1		
	無機化学Ⅳ	1				1		
	化学工学Ⅰ	1				1		
	化学工学Ⅱ	1				1		
	生物化学Ⅰ	1				1		
	生物化学Ⅱ	1				1		
	物理化学Ⅱ	1				1		
	物理化学Ⅲ	1				1		
材料工学Ⅰ	1				1			
機器分析Ⅰ	1				1			
機器分析実験	2				2			
化学英語	2				2			
高分子化学Ⅰ	1				1			
分子生物学	1				1			
遺伝子工学	1				1			
インターンシップ	2				2			
反応工学	1					1		
先端化学Ⅰ	2					2		
先端化学Ⅱ	2					2		
材料工学Ⅱ	1					1		
応用物理Ⅲ	1					1		
応用物理Ⅳ	1					1		
有機工業化学	2					2		
無機工業化学	2					2		
高分子化学Ⅱ	1					1		
化学工学Ⅲ	1					1		
応用微生物学	1					1		
薬理学	1					1		
機器分析特論	1					1		
工コマテリアル	1					1		
機器分析Ⅱ	1					1		
C A D	1					1		
品質管理	1					1		
安全工学	1					1		
環境科学	1					1		
生体触媒工学	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

近未来ネットワーク社会を支える 電子情報技術のスペシャリストに

実習や演習を多く取り入れた実験重視型教育で
ソフトウェア、電子工学、通信ネットワークについて体系的に学び、
「自ら考えてものをつくる」ための
総合的な専門知識技能を身につけます。
デジタル技術の明日を担う技術者を育成します。



電子情報工学科 ■ 教育目標

システムからアプリケーションまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

プログラムや回路を有機的に結びつけるネットワーク設計ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1		1				
	基礎電気Ⅱ	1		1				
	計算機システム	1		1				
	論理回路	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	工学演習Ⅰ	1		1				
	電子情報工学実験Ⅰ	2		2				
	電子情報工学実験Ⅱ	3			3			
電子情報工学実験Ⅲ	3				3			
卒業研究	12					12		
計	32	5	9	3	3	12		
選択科目	応用物理Ⅰ	1			1			
	応用物理Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅱ	1			1			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	計算機構成論Ⅰ	1			1			
	計算機構成論Ⅱ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1			1			
	情報数学Ⅰ	1			1			
	工学演習Ⅱ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅳ	1				1		
	電気磁気学Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電子デバイス	1				1		
	電子システムⅠ	1				1		
	電子システムⅡ	1				1		
	電子通信工学Ⅰ	1				1		
	電子通信工学Ⅱ	1				1		
	通信システムⅠ	1				1		
	通信システムⅡ	1				1		
	オペレーティングシステムⅠ	1				1		
	オペレーティングシステムⅡ	1				1		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1				1		
	数値計算	1				1		
情報数学Ⅱ	1				1			
創造工学設計Ⅰ	2				2			
創造工学設計Ⅱ	2				2			
インターシップ	2				2			
応用数学Ⅲ	2					2		
応用数学Ⅳ	2					2		
技術英語	1					1		
センサ工学	1					1		
デジタル信号処理Ⅰ	1					1		
デジタル信号処理Ⅱ	1					1		
電子回路Ⅲ	1					1		
電子回路Ⅳ	1					1		
コンピュータ計測Ⅰ	1					1		
コンピュータ計測Ⅱ	1					1		
電波工学	1					1		
応用電磁システム	1					1		
情報ネットワークⅠ	1					1		
情報ネットワークⅡ	1					1		
ソフトウェア工学Ⅰ	1					1		
ソフトウェア工学Ⅱ	1					1		
メディア工学Ⅰ	1					1		
メディア工学Ⅱ	1					1		
計算工学Ⅰ	1					1		
計算工学Ⅱ	1					1		
情報理論	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

■国際ビジネス学科

富山から環日本海へ そして世界へ 外国語と知識を駆使するビジネスパーソン！

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語や環日本海諸国語という、
2つの“使える外国語能力”及び、異文化理解力を身につけ、
ビジネスに関する専門的な知識を学びます。

さまざまな情報を処理して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、
環日本海交流の拠点をめざす富山県を中心として、国際的に活躍し、
地域社会や地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成します。



国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身につけ、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力と異文化理解力を身につけたビジネスパーソンを育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	商学概論 I	1	1					
	商学概論 II	1	1					
	情報概論 I	1	1					
	情報基礎	1	1					
	情報基礎演習 I	1	1					
	物流概論 I	1		1				
	物流概論 II	1		1				
	会計学概論 I	1		1				
	会計学概論 II	1		1				
	経済学概論 I	1		1				
	経済学概論 II	1		1				
	英語演習 I	1			1			
	英語演習 II	1			1			
	法学概論 I	1			1			
	法学概論 II	1			1			
	経営学概論 I	1			1			
	経営学概論 II	1			1			
	環日本海社会経済史 I	1			1			
	環日本海社会経済史 II	1			1			
	ビジネスゼミナール I	1				1		
ビジネスゼミナール II	1				1			
卒業研究	12						12	
	33	5	4	10	2	12		
選択科目	情報基礎 III	1		1				
	情報基礎 IV	1		1				
	情報基礎演習 II	1		1				
	物流管理論 I	1			1			
	物流管理論 II	1			1			
	財務会計論 I	1			1			
	財務会計論 II	1			1			
	工業会計論 I	1			1			
	工業会計論 II	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (ロシア語)	1			1			
	マーケティング論 I	1				1		
	マーケティング論 II	1				1		
	国際物流論 I	1				1		
	国際物流論 II	1				1		
	管理会計論 I	1				1		
	管理会計論 II	1				1		
	民法 I	1				1		
	民法 II	1				1		
	経営戦略論 I	1				1		
	経営戦略論 II	1				1		
	経営情報 I	1				1		
	経営情報 II	1				1		
	環日本海社会経済史 III	1				1		
	環日本海社会経済史 IV	1				1		
	ビジネス英語	2				2		
	時事英語講読	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (韓国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (ロシア語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 I (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 I (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 I (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (ロシア語)	1				1		
環日本海諸国語表現 III (中国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (ロシア語)	2				2			
金融・保険論 I	1				1			
金融・保険論 II	1				1			
インターシップ	2				2			
国際ビジネス論 I	1					1		
国際ビジネス論 II	1					1		
マーケティング戦略論	2					2		
原価企画論 I	1					1		
原価企画論 II	1					1		
ビジネス英語演習 I	1					1		
ビジネス英語演習 II	1					1		
異文化コミュニケーション論	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
雇用関係法 I	1					1		
雇用関係法 II	1					1		
経営管理論 I	1					1		
経営管理論 II	1					1		
経営科学 I	1					1		
経営科学 II	1					1		
国際関係概論 I	1					1		
国際関係概論 II	1					1		
英語圏異文化実習	4				4			
環日本海諸国異文化実習	4				4			
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

サービスエリアは地球 世界の海で活躍するグローバルスペシャリスト

「航海コース」と「機関コース」との2つから成る複合学科で、海と船で使われる様々なテクノロジーを勉強し、世界中で活躍するナビゲータやエンジニアをめざします。最新のシミュレータやハイテク練習船で実習しながら、実物を使って理論と技術を学び、即戦力を身につけます。大きな船で海外へ航海に出る延べ1年間の乗船実習があるので、修業年限は5年6ヶ月となり、卒業は6年生の9月になります。



商船学科 ■ 教育目標

船舶のスペシャリストとして必要な専門知識を身につけます。

船舶をフィールドとしたシステムの管理、構築ができるように実験や実習を通して専門的な能力を育成します。

船舶システムを良好に運用するのに必要なマナーとシーマンシップを実習や艇によって習得します。

専門的な応用力が開発できるよう、知識、技術、管理能力の基礎を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
航海・機関 共通科目	船用機関概論 I	1	1					
	船用機関概論 II	1	1					
	海洋工学実習 I	1	1					
	電気電子工学 I	1		1				
	電気電子工学 II	1		1				
	船舶安全工学 I	1			1			
	船舶安全工学 II	1			1			
	電気回路機器 I	1			1			
	電気回路機器 II	1			1			
	船舶工学 I	1				1		
	船舶工学 II	1					1	
	海事法学 I	1				1		
	海事法学 II	1					1	
	計測・自動制御工学 I	1					1	
	計測・自動制御工学 II	1					1	
	計測・自動制御工学 III	1					1	
	計測・自動制御工学 IV	1					1	
	計測・自動制御工学 V	1					1	
	計測・自動制御工学 VI	1					1	
	情報処理 I	1	1					
情報処理 II	1	1						
情報処理 III	1	1						
インターネット I	2					2		
インターネット II	2					2		
海洋科学概論	1						1	
船舶工学特論	1						1	
航海科学特論	1						1	
航海法特論	1						1	
船舶体管理特論	1						1	
航海システム特論	1						1	
航海システム実務特論	1						1	
電気電子工学特論	1						1	
電気電子工学実務特論	1						1	
蒸気原動機特論	1						1	
蒸気原動機実務特論	1						1	
生産システム工学	1						1	
熱機関工学	1						1	
地球環境流体力学	1						1	
熱伝導工学	1						1	
材料工学特論	1						1	
材料工学実務特論	1						1	
英語 I	2						2	
英語 II	2						2	
航海概論 I	1	1						
航海概論 II	1	1						
航海測位論 I	1		1					
航海測位論 II	1		1					
航海英語 I	1		1					
航海英語 II	1		1					
航海概論 I	1		1					
航海概論 II	1		1					
校内練習船実習 I	1		1					
航海測位論 III	1			1				
航海測位論 IV	1			1				
航海測位論 V	1			1				
船舶体管理論 I	1			1				
船舶体管理論 II	1			1				
海上交通論 I	1			1				
海上交通論 II	1			1				
校内練習船実習 II	3			3				
校内練習船実習 III	1			1				
航海測位論 IV	1			1				
航海測位論 V	1			1				
航海測位論 VI	1			1				
航海測位論 VII	1			1				
航海測位論 VIII	1			1				
航海測位論 IX	1			1				
航海測位論 X	1			1				
航海測位論 XI	1			1				
航海測位論 XII	1			1				
航海測位論 XIII	1			1				
航海測位論 XIV	1			1				
航海測位論 XV	1			1				
航海測位論 XVI	1			1				
航海測位論 XVII	1			1				
航海測位論 XVIII	1			1				
航海測位論 XIX	1			1				
航海測位論 XX	1			1				
航海測位論 XXI	1			1				
航海測位論 XXII	1			1				
航海測位論 XXIII	1			1				
航海測位論 XXIV	1			1				
航海測位論 XXV	1			1				
航海測位論 XXVI	1			1				
航海測位論 XXVII	1			1				
航海測位論 XXVIII	1			1				
航海測位論 XXIX	1			1				
航海測位論 XXX	1			1				
航海測位論 XXXI	1			1				
航海測位論 XXXII	1			1				
航海測位論 XXXIII	1			1				
航海測位論 XXXIV	1			1				
航海測位論 XXXV	1			1				
航海測位論 XXXVI	1			1				
航海測位論 XXXVII	1			1				
航海測位論 XXXVIII	1			1				
航海測位論 XXXIX	1			1				
航海測位論 XL	1			1				
航海測位論 XLI	1			1				
航海測位論 XLII	1			1				
航海測位論 XLIII	1			1				
航海測位論 XLIV	1			1				
航海測位論 XLV	1			1				
航海測位論 XLVI	1			1				
航海測位論 XLVII	1			1				
航海測位論 XLVIII	1			1				
航海測位論 XLIX	1			1				
航海測位論 L	1			1				
航海測位論 LI	1			1				
航海測位論 LII	1			1				
航海測位論 LIII	1			1				
航海測位論 LIV	1			1				
航海測位論 LV	1			1				
航海測位論 LVI	1			1				
航海測位論 LVII	1			1				
航海測位論 LVIII	1			1				
航海測位論 LVIX	1			1				
航海測位論 LX	1			1				
航海測位論 LXI	1			1				
航海測位論 LXII	1			1				
航海測位論 LXIII	1			1				
航海測位論 LXIV	1			1				
航海測位論 LXV	1			1				
航海測位論 LXVI	1			1				
航海測位論 LXVII	1			1				
航海測位論 LXVIII	1			1				
航海測位論 LXIX	1			1				
航海測位論 LXX	1			1				
航海測位論 LXXI	1			1				
航海測位論 LXXII	1			1				
航海測位論 LXXIII	1			1				
航海測位論 LXXIV	1			1				
航海測位論 LXXV	1			1				
航海測位論 LXXVI	1			1				
航海測位論 LXXVII	1			1				
航海測位論 LXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXIX	1			1				
航海測位論 LXXX	1			1				
航海測位論 LXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXX	1			1				
航海測位論 LXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXXX	1			1				
航海測位論 LXXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXXXX	1			1				
航海測位論 LXXXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXXXXX	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXVIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIX	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXI	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIII	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXIV	1			1				
航海測位論 LXXXXXXXV	1			1</				

■一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

Curriculum 工学系4学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	基礎数学 A I	2	2					
	基礎数学 A II	2	2					
	基礎数学 B	2	2					
	物理学 I (*)	[2]	[2]					
	化学 I (*)	(3)	(3)					
基礎科学実験 (**)	[1]		[1]					
計		9	[8](9)	[1]				
人文・社会	総合国語 I A	2	2					
	総合国語 I B	2	2					
	総合国語 II	2		2				
	総合国語 III	2			2			
	国語表現 現	1				1		
	日本語と文化 I	1					1	
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	2		2				
	歴史学 I	1				1		
	歴史学 II	1				1		
	倫理学 I	2		2				
	哲学 I	1				1		
	哲学 II	1				1		
	政治・経済 I	2			2			
	経済学 I	1				1		
経済学 II	1				1			
法学 I	1					1		
選択	基礎数学 C	1	1					
	微分積分学 I	2		2				
	微分積分学 II	2		2				
	線形代数学 I	2		2				
	線形代数学 II	2			2			
	総合数学 I	1			1			
	確率と統計 I	1			1			
	数学特講 I	1				1		
	数学特講 II	1				1		
	物理学 I (*)	(2)	(2)					
	物理学 II	2		2				
	物理学 III	1			1			
	化学 I (*)	[2]	[2]					
	化学 II	2		2				
	保健 I	1	1					
保健 II	2	2						
保健 III	2		2					
保健 IV	1				1			
保健 V	1					1		
芸術	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
外国語	総合英会話 I	3	3					
	総合英会話 II	3		3				
	総合英会話 III	3			3			
	総合英会話 IV	1				1		
	総合英会話 V	1				1		
	英会話表現 現 I	2	2					
	英会話表現 現 II	2		2				
	英会話表現 現 III	2			2			
	英会話 I	1	1					
	英会話 II	1		1				
	英会話演習 I	1				1		
	英会話演習 II	1				1		
	英語演習 I	1				1		
	英語演習 II	1				1		
	英語演習 III	1					1	
	環日本海諸国語 I (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語 I (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語 I (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語 II (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語 II (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語 II (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語 III (中国語)	1					1	
	環日本海諸国語 III (韓国語)	1					1	
	環日本海諸国語 III (ロシア語)	1					1	
	英語圏異文化実習	3					3	
環日本海諸国異文化実習	3					3		
修得すべき単位数		75単位以上						

(*) 機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科は、「物理学 I」が2単位必修、「化学 I」が2単位選択。物質化学工学科は、「化学 I」が3単位必修、「物理学 I」が2単位選択。

(**) 機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科は「基礎科学実験」が1単位必修、物質化学工学科は「基礎科学実験」が開講されない。

Curriculum 国際ビジネス学科

科目区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	人文・社会	総合国語 I A	2	2				
		総合国語 I B	2	2				
		総合英語 I	2	2				
		総合英語 II	2		2			
	計	8	6	2				
人文・社会	総合国語 II	2		2				
	総合国語 III	2			2			
	国語表現	1				1		
	日本語と文化	1					1	
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	2		2				
	歴史学 I	1				1		
	歴史学 II	1				1		
	地理	2	2					
	倫理	2		2				
	哲学 I	1				1		
	哲学 II	1				1		
	政治・経済	2			2			
自然	経済学 I	1				1		
	経済学 II	1				1		
	法学	1					1	
	数学 I	2	2					
	数学 II	2		2				
	数学 III	2			2			
	理科 I	2	2					
	理科 II	2		2				
	保・体	保健	1	1				
		体育 I	2	2				
		体育 II	2		2			
		体育 III	2			2		
		体育 IV	1				1	
芸術	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
外国語	総合英語 III	2			2			
	総合英語 IV	1				1		
	総合英語 V	1				1		
	総合英語 VI	1					1	
	総合英語 VII	1					1	
	英語表現 I	2	2					
	英語表現 II	2		2				
	英会話 I A	2	2					
	英会話 I B	2	2					
	英会話 II A	2		2				
	英会話 II B	2		2				
	英会話 III	2			2			
	英会話 IV	1				1		
英会話 V	1				1			
教養基礎	1				1			
国語	環日本海諸国語 I (中国語)	2	2					
	環日本海諸国語 I (韓国語)	2	2					
	環日本海諸国語 I (ロシア語)	2	2					
	環日本海諸国語 II (中国語)	2	2					
	環日本海諸国語 II (韓国語)	2	2					
	環日本海諸国語 II (ロシア語)	2	2					
	環日本海諸国語 III (中国語)	2		2				
	環日本海諸国語 III (韓国語)	2		2				
	環日本海諸国語 III (ロシア語)	2		2				
	環日本海諸国語 IV (中国語)	2		2				
	環日本海諸国語 IV (韓国語)	2		2				
	環日本海諸国語 IV (ロシア語)	2		2				
	環日本海諸国語 V (中国語)	2			2			
環日本海諸国語 V (韓国語)	2			2				
環日本海諸国語 V (ロシア語)	2			2				
環日本海諸国語 VI (中国語)	2			2				
環日本海諸国語 VI (韓国語)	2			2				
環日本海諸国語 VI (ロシア語)	2			2				
その他	言語学 I	1			1			
	言語学 II	1			1			
修得すべき単位数		75単位以上						

Curriculum 商船学科

科目区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必 修 科 目	自 然	基 礎 数 学 A I	2	2				
		基 礎 数 学 A II	2	2				
		基 礎 数 学 B	2	2				
		物 理 学 I	2	2				
	外 国 語	基 礎 科 学 実 験	1		1			
	計	10	8	1			1	
選 修 科 目	人 文 ・ 社 会	総 合 国 語 I A	2	2				
		総 合 国 語 I B	2	2				
		総 合 国 語 II	2		2			
		総 合 国 語 III	2			2		
		国 語 表 現	1				1	
		日 本 語 と 文 化	1					1
		歴 史 I	2	2				
		歴 史 II	2		2			
		歴 史 学 I	1					1
		歴 史 学 II	1					1
		地 理	2	2				
		倫 理	2		2			
		哲 学 I	1					1
	哲 学 II	1					1	
	政 治 ・ 経 済	2				2		
	経 済 学 I	1					1	
	経 済 学 II	1					1	
	法 学	1					1	
	自 然	微 分 積 分 学 I	2		2			
		微 分 積 分 学 II	2		2			
		線 形 代 数	2		2			
		解 析 学 I	2			2		
		解 析 学 II	2			2		
		確 率 と 統 計	1			1		
		総 合 数 学	1			1		
		数 学 特 講 I	1					1
		数 学 特 講 II	1					1
		物 理 学 II	2		2			
		物 理 学 III	1			1		
		化 学 I	2	2				
		化 学 II	2		2			
	保 ・ 体	保 健	1	1				
		体 育 I	2	2				
		体 育 II	2		2			
		体 育 III	2			2		
		体 育 IV	1				1	
	芸 術	体 育 V	1				1	
		音 楽	1	1				
		書 道	1	1				
	外 国 語	総 合 英 語 I	3	3				
		総 合 英 語 II	3		3			
		総 合 英 語 III	2			2		
		総 合 英 語 IV	1				1	
		総 合 英 語 V	1					1
		英 語 表 現 I	2	2				
		英 語 表 現 II	2		2			
		英 語 表 現 III	2			2		
		英 会 話 I	1	1				
		英 会 話 II	1		1			
		英 会 話 演 習 I	1					1
英 会 話 演 習 II		1					1	
英 語 演 習 I		1					1	
英 語 演 習 II		1					1	
英 語 演 習 III		1					1	
環 日 本 海 諸 国 語 I (中国語)		1				1		
環 日 本 海 諸 国 語 I (韓国語)		1				1		
環 日 本 海 諸 国 語 I (ロシア語)		1				1		
環 日 本 海 諸 国 語 II (中国語)		1					1	
環 日 本 海 諸 国 語 II (韓国語)		1					1	
環 日 本 海 諸 国 語 II (ロシア語)	1					1		
環 日 本 海 諸 国 語 III (中国語)	1					1		
環 日 本 海 諸 国 語 III (韓国語)	1					1		
環 日 本 海 諸 国 語 III (ロシア語)	1					1		
そ の 他	英 語 圏 異 文 化 実 習	3				3		
	環 日 本 海 諸 国 異 文 化 実 習	3				3		
	修得すべき単位数	75単位以上						

4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。

■エコデザイン工学専攻

エコデザイン工学専攻では、全ての技術は環境に配慮しなければならない、という背景のもと、高専教育で修得した、機械システム工学、電気制御システム工学、物質化学工学などに関する基礎学力の上に、高度化・複合化した教育を行い、環境工学、環境社会学、工学倫理、計測・制御などの共通科目を課し、共生の精神を有した創造的技術者を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 科 目	計測・制御	2	2				
	プログラミング工学	2		2			
	生物工学	2				2	
	力学基礎	2		2			
	工学倫理	2	2				
	技術と環境	2			2		
	環境工学	2			2		
	工業数学	2	2				
	MOT入門	2		2			
	インターシップA	2or3		2or3			
インターシップB	2or3		2or3				
エコデザイン工学特論	2				2		
特別演習	2	2					
地域産業学	2		2				
共通科目開設単位計		28~30	8	12~14	4	4	
専 門 科 目	エコデザイン工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	エコデザイン工学特別研究Ⅱ	5				5	
	材料工学特論	2	2				
	振動工学特論	2	2				
	シミュレーション工学特論	2	2				
	流体工学特論	2	2				
	材料機能システム論	2		2			
	精密加工学	2		2			
	熱工学特論	2		2			
	応用システム特論	2		2			
	生産加工学	2			2		
	数値解析	2			2		
	電気回路特論	2	2				
	ロボット工学特論	2	2				
	知的信号処理特論	2	2				
	エネルギー論	2	2				
	電磁波工学	2		2			
	パワーエレクトロニクス特論	2		2			
	エコ電力システム工学特論	2		2			
	電子物性論	2			2		
	薄膜工学	2				2	
	物理化学特論	2	2				
	無機材料特論	2	2				
	複合材料工学	2	2				
	機能性高分子材料	2		2			
	材料機能特論	2		2			
工コマテリアル特論	2		2				
精密有機合成化学	2			2			
生体物質機能概論	2			2			
食品化学工学	2				2		
機器分析論	2				2		
専攻科目開設単位計		72	24	22	15	11	
専門科目開設科目単位計		100~102	32	34~36	19	15	
修得単位			専門科目として54単位以上修得				
一般・専門科目 開設単位 合計		116~118	36	38~40	21	21	
一般・専門科目 修得単位 合計			62 単位以上修得				

■ 制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備考
			1 年		2 年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2	
	技 術 英 語	2		2			
	応用数学特論	2	2				
	応用物理学特論	2	2				
	数学・物理学演習	2		2			
	国 際 関 係 論	2				2	
	経営戦略特論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2			2		
	情 報 処 理 学	2	2				
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2				2	
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(国外)	3	3				
	技術・産業演習	2	2				
	港 湾 実 務	2			2		
	港 湾 物 流	2			2		
	地球科学概論	2				2	
	衝 撃 工 学	2	2				
	環 境 雪 氷 工 学	2		2			
	地 域 産 業 学	2		2			
専門共通科目開設単位数	41	15	10	8	8		
専 門 専 攻 科 目	制御情報システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	制御情報システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
	制御情報システム工学実験	4	2	2			
	制御情報システム工学演習	4	2	2			
	オブジェクト指向プログラミング	2		2			
	計測制御システム工学	2	2				
	量子エレクトロニクス	2		2			
	通信工学特論	2	2				
	電子物性工学	2	2				
	電磁波工学特論	2			2		
	生体情報工学	2			2		
	計算工学特論	2		2			
	ネットワークシステム工学	2			2		
知能情報処理工学	2		2				
専門専攻科目開設単位数	42	12	14	11	5		
専門科目開設単位数計	83	27	24	19	13		
一般・専門科目単位数計	99	31	26	23	19		
修得単位数合計	62 単 位 以 上						

■ 国際ビジネス学専攻

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備考
			1 年		2 年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2	
	技 術 英 語	2		2			
	応用数学特論	2	2				
	応用物理学特論	2	2				
	数学・物理学演習	2		2			
	国 際 関 係 論	2				2	
	経営戦略特論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2			2		
	情 報 処 理 学	2	2				
	技術・産業演習	2	2				
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(国外)	3	3				
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2				2	
	港 湾 実 務	2			2		
	港 湾 物 流	2			2		
	地球科学概論	2				2	
	衝 撃 工 学	2	2				
	環 境 雪 氷 工 学	2		2			
	地 域 産 業 学	2		2			
専門共通科目開設単位数	41	15	10	8	8		
専 門 専 攻 科 目	国際ビジネス学特別研究Ⅰ	12	4	4	4		
	国際ビジネス学特別研究Ⅱ	4				4	
	経営学特論Ⅰ	2	2				
	経営学特論Ⅱ	2		2			
	専門英書講読	2		2			
	経営管理特論	2	2				
	環日本海ビジネス事情	2	2				
	環日本海ビジネス演習	2		2			
	国際ビジネス特論	2		2			
	数理意思決定論	2			2		
	ビジネス会計論	2			2		
	応用情報処理論	2			2		
	環境マーケティング論	2				2	
現 代 流 通 論	2	2					
マーケティング特論	2		2				
商 業 英 語	2		2				
経営システム分析論	2		2				
経営システム科学論	2				2		
専門専攻科目開設単位数	48	12	18	10	8		
専門科目開設単位数計	89	27	28	18	16		
一般・専門科目単位数計	105	31	30	22	22		
修得単位数合計	62 単 位 以 上						

■ 海事システム工学専攻

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から、深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などのシステム創生を担える人材を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
専攻科目	技術者倫理・企業倫理	2	2				
	技術英語	2		2			
	応用数学特論	2		2			
	応用物理学特論	2		2			
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2		2			
	経営戦略特論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2			2		
	情報処理学	2		2			
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2	2				
	インターンシップA(国内)	2		2			
	インターンシップB(国外)	3		3			
	港湾実務	2			2		
	港湾物流	2			2		
	地球科学概論	2	2				
	技術・産業演習	2		2			
	衝撃工学	2		2			
	環境雪氷工学	2			2		
	地域産業学	2	2				
専門共通科目開設単位数	41	8	15	10	8		
専門科目	海事システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	海事システム工学特別研究Ⅱ	5			5		
	海事システム工学実験	4	2	2			
	海事システム工学演習	4	2	2			
	船用制御システム	2		2			
	ナビゲーション・システム	2		2			
	輸送機器デザイン	2		2			
	海洋施設環境・情報工学	2		2			
	熱機関工学特論	2	2				
	タービン特論	2		2			
	流体工学特論	2		2			
	海上労働法	2		2			
伝熱工学特論	2	2					
電子工学特論	2			2			
専門専攻科目開設単位数	42	10	12	13	7		
専門科目開設単位数計	83	18	27	23	15		
一般・専門科目単位数計	99	24	31	25	19		
修得単位数合計	62 単位以上						

■ 専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
エレクトロデザイン工学専攻	一般科目	言語と文化	2			2	
		歴史と文化	2			2	
		思想と文化	2		2		
		環境社会学	2			2	
	外国語	英語Ⅰ	2	2			
		英語Ⅱ	2		2		
		英語コミュニケーションⅠ	2	2			
	英語コミュニケーションⅡ	2		2			
一般科目開設単位数	小計	16	4	4	2	6	
修得単位 一般科目として8単位以上修得							

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
制御情報システム工学専攻	一般科目	英語特論Ⅰ	2	2			
		英語特論Ⅱ	2		2		
		応用英語	2	2			
		日本語・日本文学	2			2	
		地域社会研究	2		2		
		健康科学	2			2	
		産業特論	2		2		
		環日本海文化論	2			2	
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
国際ビジネス学専攻	一般科目	英語特論Ⅰ	2	2			
		英語特論Ⅱ	2		2		
		応用英語	2	2			
		日本語・日本文学	2			2	
		地域社会研究	2		2		
		健康科学	2			2	
産業特論	2		2				
環日本海文化論	2			2			
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
海事システム工学専攻	一般科目	英語特論Ⅰ	2	2			
		英語特論Ⅱ	2		2		
		応用英語	2		2		
		日本語・日本文学	2	2			
		地域社会研究	2			2	
		健康科学	2	2			
		産業特論	2			2	
環日本海文化論	2	2					
一般科目開設単位数		16	6	4	2	4	

5 教員名簿

■機械システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	浅地 豊久 Asaji Toyohisa	設計製図 振動工学
教授 Professor	博士(工学)	井上 誠 Inoue Makoto	製造と加工Ⅲ 非鉄金属材料
教授 Professor	博士(工学)	岡根 正樹 Okane Masaki	材料力学Ⅰ, Ⅱ 材料強度学
教授 Professor	博士(工学)	佐瀬 直樹 Sase Naoki	機構学 製造と加工
教授 Professor	博士(工学)	高橋 勝彦 Takahashi Katsuhiko	製造と加工 材料プロセス
教授 Professor	博士(工学)	寺西 恒宣 Teranishi Tsunenobu	伝熱工学 熱工学特論
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	池田 英俊 Ikeda Hidetoshi	工業力学 ロボット工学Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	喜多 正雄 Kita Masao	基礎材料工学Ⅰ 材料物性Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	坂本 佳紀 Sakamoto Yoshinori	情報処理Ⅰ 環境強度Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	白川 英観 Shirakawa Hidemi	熱力学Ⅰ 流体工学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	豊嶋 剛司 Toshima Takeshi	応用物理Ⅰ 材料物性Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	増山 圭一 Masuyama Keiichi	機械製図 基礎材料工学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	吉川 文恵 Yoshikawa Fumie	エネルギー機械 機械計測工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	田尻 智紀 Tajiri Tomoki	制御工学Ⅰ, Ⅱ 基礎工学実験Ⅰ

■電気制御システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	櫻井 豊 Sakurai Yutaka	電気材料 制御工学Ⅰ
教授 Professor	博士(工学)	佐藤 圭祐 Sato Keisuke	コンピュータサイエンス 電気機械Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	柴田 博司 Shibata Hiroshi	シミュレーション工学 材料力学Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	高田 英治 Takada Eiji	計測工学Ⅰ, Ⅱ システム工学
教授 Professor	博士(工学)	西 敏行 Nishi Toshiyuki	電気磁気学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ システム工学実験Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	西田 均 Nishida Hitoshi	流体力学 流体工学特論
准教授 Associate Professor	博士(工学)	池田 慎治 Ikeda Shinji	電気回路Ⅲ 電子工学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	井澤 正樹 Izawa Masaki	システム設計 情報処理Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	石田 文彦 Ishida Fumihiko	情報処理 計算機システムⅠ

准教授 Associate Professor	博士(工学)	金子 慎一郎 Kaneko Shin-ichiro	ロボット工学 I 設計製図 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	多田 和広 Tada Kazuhiro	電子回路 I, II 電子物性論
准教授 Associate Professor	博士(理学)	藤崎 明広 Fujisaki Akihiro	応用数学 I, II, IV 応用物理 I, II
准教授 Associate Professor	修士(工学)	古川 裕人 Furukawa Hiroto	電気回路 I, II 通信工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	百生 登 Momose Noboru	ものづくり工学 メカトロ基礎工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	北村 拓也 Kitamura Takuya	応用数学 III 制御工学 II
助教 Assistant Professor	博士(工学)	渡辺 秀典 Watanabe Hidenori	基礎電気工学 電磁波工学

物質化学工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合 孝恵 Kawai Takae	物理化学 I 情報処理 II
教授 Professor	博士(工学)	川淵 浩之 Kawafuchi Hiroyuki	有機化学 II 有機工業化学
教授 Professor	博士(薬学)	後藤 道理 Goto Michimasa	生物化学 II 薬理学
教授 Professor	工学博士	高廣 政彦 Takahiro Masahiko	応用物理 I 材料工学 II
教授 Professor	博士(工学)	袋布 昌幹 Tafu Masamoto	材料工学 I エコマテリアル特論
教授 Professor	博士(理学)	津森 展子 Tsumori Nobuko	化学 I 化学 II
教授 Professor	博士(工学)	安田 賢生 Yasuda Kensei	無機化学 II 無機反応化学
准教授 Associate Professor	博士(農学)	篠崎 由紀子 Shinozaki Yukiko	分子生物学 生物工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	中島 栄次 Nakajima Eiji	基礎化学工学 化学工学 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	間中 淳 Manaka Atsushi	分析化学実験 無機化学 III
准教授 Associate Professor	博士(農学)	峰本 康正 Minemoto Yasumasa	化学工学 II 応用数学 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	森 康貴 Mori Yasutaka	高分子化学 材料工学 II
助教 Assistant Professor	博士(工学)	迫野 奈緒美 Sakono Naomi	物理化学 II 無機化学 I
助教 Assistant Professor	博士(工学)	高松 さおり Takamatsu Saori	分析化学実験 環境工学
助教 Assistant Professor	博士(マテリアルサイエンス)	福田 知博 Fukuda Tomohiro	有機化学 III 機器分析 I
助教 Assistant Professor	博士(理学)	山岸 正和 Yamagishi Masakazu	機器分析 II 有機化学実験

電子情報工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(理学)	阿蘇 司 Aso Tsukasa	情報ネットワーク ネットワークシステム工学
教授 Professor	博士(工学)	小熊 博 Oguma Hiroshi	制御工学 通信工学特論
教授 Professor	博士(工学)	椎名 徹 Shiina Toru	メディア工学 電気磁気学
教授 Professor	博士(工学)	篠川 敏行 Shinokawa Toshiyuki	計算機構成論 論理回路
教授 Professor	博士(学術)	新開 純子 Shinkai Junko	プログラミング アルゴリズムとデータ構造
教授 Professor	博士(工学)	塚田 章 Tsukada Akira	電気回路 生体情報工学
教授 Professor	博士(情報科学)	古山 彰一 Furuyama Shoichi	創造工学設計 数値計算
教授 Professor	博士(工学)	水本 巖 Mizumoto Iwao	電子通信工学 応用電磁システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	秋口 俊輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステム 情報処理学
准教授 Associate Professor	修士(工学)	早勢 欣和 Hayase Yoshikazu	情報数学 ソフトウェア工学
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	的場 隆一 Matoba Ryuichi	応用数学 技術英語
准教授 Associate Professor	修士(工学)	山口 晃史 Yamaguchi Akifumi	工学演習 電子システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	由井 四海 Yoshii Yotsumi	量子エレクトロニクス コンピュータ計測
助手 Research Associate	修士(工学)	門村 英城 Kadomura Hideki	電子情報工学実験

国際ビジネス学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(PhD)	西原 雅博 Nishihara Masahiro	異文化コミュニケーション論 時事英語講読
教授 Professor	修士(経営情報学)	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	財務会計論 管理会計論
准教授 Associate Professor	修士(学術)	海老原 毅 Ebihara Tsuyoshi	環日本海諸国語表現(中国語) ビジネス環日本海諸国語(中国語)
准教授 Associate Professor	修士(文学)	岡本 勝規 Okamoto Katsunori	環日本海社会地域経済論 環日本海社会経済史
准教授 Associate Professor	博士(学術)	清 剛治 Kiyoshi Takeharu	経済学概論 国際ビジネス論
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	萩原 信吾 Hagiwara Shingo	経営情報演習 情報基礎
准教授 Associate Professor	修士(経済学)	松原 義弘 Matsubara Yoshihiro	民法 雇用関係法
准教授 Associate Professor	博士(言語文化学)	宮崎 衣澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現(ロシア語) ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)
准教授 Associate Professor	博士(学術)	宮重 徹也 Miyashige Tetsuya	経営戦略論 経営管理論
准教授 Associate Professor	博士(工学)	村山 雅子 Murayama Masako	物流管理論 国際物流論
講師 Lecturer	博士(マネジメント)	塩見 浩介 Shiomi Kosuke	金融論 原価企画論

講師 Lecturer	博士(総合政策)	那須野 育大 Nasuno Ikuhiro	商学概論Ⅰ,Ⅱ 流通システム論Ⅰ,Ⅱ
----------------	----------	--------------------------	-----------------------

商船学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	千葉 元 Chiba Hajime	海洋実習 運用概論
教授 Professor	博士(工学)	桐 伸司 Toga Shinji	応用力学 航海力学
教授 Professor	博士(工学)	中谷 俊彦 Nakatani Toshihiko	航海概論 航海計測論
教授 Professor	学術博士	八賀 正司 Hachiga Tadashi	電気・電子工学 電子回路
教授 Professor	博士(工学)	保前 友高 Homae Tomotaka	力学 材料力学
教授 Professor	博士(工学)	見上 博 Mikami Hiroshi	蒸気原動機工学 タービン特論
教授 Professor	博士(工学)	水谷 淳之介 Mizutani Junnosuke	設計製図 工業材料学
教授 Professor	博士(工学)	山本 桂一郎 Yamamoto Keiichiro	パワーエレクトロニクス 生産開発システム
准教授 Associate Professor	修士(商船学)	河合 雅司 Kawai Masashi	航海測位論 航法システム論
准教授 Associate Professor	修士(経済学) 一級海技士(航海)	笹谷 敬二 Sasaya Keiji	船舶安全学 海運論
准教授 Associate Professor	博士(理学)	向瀬 紀一郎 Mukose Kiichiro	船舶工学 応用数学
講師 Lecturer	博士(工学)	経田 僚昭 Kyoden Tomoaki	工業熱力学 工作実習
講師 Lecturer	博士(理学)	福留 研一 Fukudome Ken-ichi	海洋気象論 流体工学
助教 Assistant Professor	準学士 一級海技士(機関)	篠島 司郎 Sasajima Shiro	船用機関実務 商船実務
助教 Assistant Professor	博士(工学)	山田 圭祐 Yamada Keisuke	船用機関概論 内燃機関工学
助教 Assistant Professor	修士(海事科学)	西井 典子 Nishii Noriko	海上交通論 航海英語
嘱託教授 Professor	博士(工学)	遠藤 真 Endo Makoto	船体管理論 船体運動論
嘱託准教授 Associate Professor	準学士 一級海技士(機関)	佐々木 正 Sasaki Tadashi	補助機械工学 流体工学

練習船若潮丸

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
船長・准教授 Captain	準学士 一級海技士(航海)	中川 宏司 Nakagawa Hiroshi	校内練習船実習 実験実習
機関長・准教授 Chief Engineer	準学士 一級海技士(機関)	山谷 尚弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習 実験実習
一等航海士・助教 Chief Officer	準学士 三級海技士(航海)	金山 恵美 Kanayama Emi	校内練習船実習 実験実習
一等機関士・助教 First Engineer	準学士 三級海技士(機関)	野村 誠 Nomura Makoto	校内練習船実習 実験実習

■ 一般教養科

〔本郷キャンパス〕

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	修士 (TESOL)	青山 晶子 Aoyama Akiko	英語表現 英語コミュニケーション
教授 Professor	学 士	高熊 哲也 Takakuma Tetsuya	総合国語・国語表現 日本文学
教授 Professor	修士 (文学)	富田 尚 Tomita Takashi	総合英語 英語 I
教授 Professor	理学 修士	長谷川 貴之 Hasegawa Takayuki	数学特講 I 数学特講 II
教授 Professor	修士 (体育学)	日比 端 洋 Hibi Naohiro	体育 I, II 体育 III, IV
教授 Professor	文学 修士	宮崎 真矢 Miyazaki Shinya	倫理 哲学
教授 Professor	博士 (理学)	山腰 等 Yamakoshi Hitoshi	物理学 I 物理学 II
准教授 Associate Professor	博士 (学術)	足立 繭子 Adachi Mayuko	総合国語 I 日本文学講読
准教授 Associate Professor	修士 (工学)	河原 治 Kawahara Osamu	基礎数学 A 数学特講 I
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	高越 義一 Takagoshi Yoshikazu	英語表現 I, III 英語 II
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	橋本 伊都子 Hashimoto Itsuko	数学特講 I 数学特講 II
准教授 Associate Professor	修士 (農学)	森田 康文 Morita Yasufumi	生物学 遺伝子工学
助教 Assistant Professor	博士 (人間・環境学)	小川 典子 Ogawa Noriko	総合英語 英語演習
助教 Assistant Professor	修士 (体育学)	仁木 康浩 Niki Yasuhiro	体育 I, II, III, IV 保健
助教 Assistant Professor	博士 (史学)	横山 恭子 Yokoyama Kyoko	歴史 I 歴史 II

〔射水キャンパス〕

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	文学 修士	岡部 寛子 Okabe Hiroko	総合国語 国語表現
教授 Professor	理学 修士	河合 均 Kawai Hitoshi	解析学 基礎数学
教授 Professor	博士 (理学)	寺崎 由紀子 Terasaki Yukiko	化学 理科
教授 Professor	博士 (工学)	星野 朱美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語 II (中国語) 環日本海諸国語 III (中国語)
教授 Professor	修士 (経済学) 修士 (教育学)	横田 教弘 Yokota Kazuhiro	政治・経済 地域社会研究
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	大竹 由記子 Ohtake Yukiko	物理学 I 物理学 II
准教授 Associate Professor	修士 (体育学)	大橋 千里 Ohashi Chisato	保健 体育 II
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	クーパー トッド Cooper Todd	英会話 英語表現
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	近藤 周吾 Kondo Shugo	総合国語 日本文学講読

准教授 Associate Professor	博士(理学)	櫻井 秀人 Sakurai Hideto	解析学 基礎数学
准教授 Associate Professor	修士(教育学)	モアナヌ チャールトン ビル Moananu Charlton Bill	英会話 総合英語
准教授 Associate Professor	修士(学術)	山本 有希 Yamamoto Yuki	環日本海諸国語Ⅰ(ロシア語) 環日本海諸国語Ⅱ(ロシア語)
准教授 Associate Professor	修士(教育学)	楽山 進 Rakuyama Susumu	総合英語 英語表現
助教 Assistant Professor	修士(教育学)	林 直人 Hayashi Naoto	体育Ⅰ 体育Ⅱ
助教 Assistant Professor	修士(英語教育) MA(ELT)	山村 啓人 Yamamura Hiroto	総合英語 英語表現
嘱託教授 Professor	文学修士	金川 欣二 Kanagawa Kinji	総合英語 言語学
嘱託教授 Professor	体育学修士	金子 龍一 Kaneko Ryuichi	体育Ⅰ 体育Ⅳ

センター

ソリューションセンター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	学士(工学)	浦風 和裕 Urakaze Kazuhiro	設計製図Ⅱ メカトロ創造設計
講師 Lecturer	博士(工学)	石黒 農 Ishiguro Minoru	機械力学 シミュレーション工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	伊藤 尚 Ito Nao	電子情報工学実験Ⅱ ものづくり基礎工学実験
助教 Assistant Professor	博士(工学)	山本 久嗣 Yamamoto Hisashi	流体力学 技術者倫理入門

イノベーションセンター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
准教授 Associate Professor	博士(工学)	太田 孝雄 Ota Takao	工業力学Ⅰ 有機材料

6 製品開発・社会貢献本部

平成27年4月、従前の地域人材開発本部と製品開発本部を発展的に統合し、製品開発・社会貢献本部を設置いたしました。当本部は、本部長である校長のもと、ソリューションセンター、イノベーションセンター、国際交流センターの3つのセンターによって構成されています。それぞれのセンターは独自性を保ちつつ、相互に連携・協力して、富山高等専門学校が果たすべき教育・研究の高度化、社会貢献活動、並びに国際交流活動を展開しております。

当本部では、地元地域のニーズに対応した製品開発業務を積極的に推進することはもちろん、地域社会・企業と協働して、国際性や創造性の豊かな実践力ある人材の育成に注力しています。全国の高専の先駆けとして、基礎研究、技術開発、教育実践に関するこれまでの蓄積を活かしつつ、地域産業の発展や地域活性化に寄与すべく、努力する決意です。

■ソリューションセンター

環境・エネルギー問題に対応するための技術革新、道路交通システムの自動化やビッグデータを利用した様々なサービスシステムの創出が期待されるICTの進化、医療・福祉分野へのさらなる応用が期待されるロボット技術の高度化など、高度な技術に基づく製品開発の要求はますます大きくなっています。

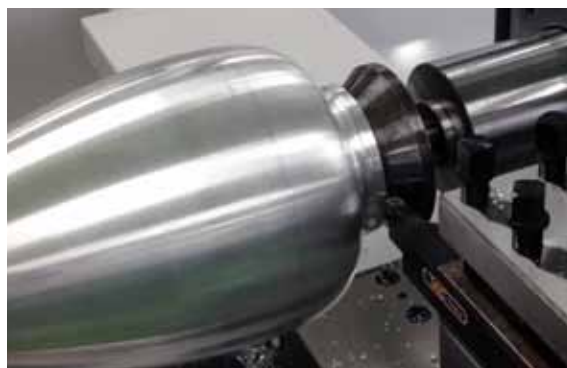
ソリューションセンターは、こういった課題に即応すべく、本校における製品開発と社会貢献活動、地域連携の拠点として、発足した組織です。産業界のニーズを踏まえ、学科や専攻科の枠組みを越えた学際的研究を推進しつつ、企画・提案・製作といった「ものづくり」の工程全般に関する活動を主体的・機動的に行っています。

これらの一連の活動を通して、地元地域における技術的課題の解決や製品開発促進に役立とうと、日夜努力を積み重ねています。具体的には、本校が所有する測定機器や加工機、種々の解析ソフトウェアを利用し、機械、電気・電子、制御・情報系の分野における、試作品の設計、製作、測定・評価、機器・装置類の改良、技術相談に対応しております。市場動向（消費者ニーズやトレンド）調査、マーケティングやビジネスコンサルティングなども実施できるよう、製品開発や事業改善を総合的に支援できる体制を整えているところです。

また、技術の継承・発展や、地元地域で真に必要とされる人材の育成にも一層努力してまいります。新しい時代に対応した創造性に富んだ「ものづくり」と、それを支える優れた技術者が求められています。高い倫理観と技術力を具備した次世代を担う人材を育成していくため、製品開発能力を向上させる教育プログラムの開発や技術者育成講座を企画する予定です。学校である以上、地域や企業を支える技術者やビジネスパーソンを卒業生・修了生として輩出していくことは当然の責務ですが、これらに加えて、競争力のある新技術の提供や地域企業の人材育成にも積極的に関与してまいりたいと考えています。



製品開発セミナーの開催



アルミ鋳物仕上げの課題解決支援

■イノベーションセンター

イノベーションセンターは、本校教職員の教育研究能力の向上と研究活動の高度化を支援するために設置された組織です。中心的な業務は、競争的資金の獲得を支援すること、企業、自治体、他高専、大学その他の研究機関との連携を推進することです。個人研究の助成を行うことのみならず、研究を組織化したり、地域社会や他機関との連携を模索したりするため、グリーンイノベーション研究会の開催など、本校教職員の研究レベルを高めるための施策を行っています。企業との共同研究や受託研究では、調整役として中心的な役割を果たしていくことが期待されています。

これらの「支え」「高め」「繋げる」取り組みにより、本校内の研究活動を活性化させることで学生の卒業研究、

特別研究のレベルの高度化を行い、学生達の意欲を高めることを目指しています。教職員と協働して研究に打ち込むという経験は、学生自身に刺激を与え、自発的に創意工夫することへの意識づけに大いに寄与するからです。結果的に、当センターの取り組みは、地域産業界のニーズに適應できる実践的かつ創造的技術者育成に繋がっていくものと確信しております。



グリーンイノベーション研究会の開催



小水力発電アイデアコンテストの開催

■国際交流センター

グローバル化によって、これまでに築いてきた社会システムも変化を余儀なくされています。日本企業は、内需減少や国際情勢の変化に対応するため、グローバル化を推し進めています。経済発展著しい新興国との間でビジネスを展開すること、未開拓の海外市場を開拓することが当たり前となっています。海外での事業所や製造拠点を設置し、運営することが必須となっています。グローバルな観点で地域社会をリードする人材が求められています。

このような状況の変化を受けて、全国の高等専門学校では、従来から取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、国際性を培う教育に傾注してまいりました。海外の異なる文化を持つ人々を理解し、双方向にコミュニケーションできる人材、協調しつつ自己の主張を明確に行うことのできる人材、持続可能な社会の発展に寄与できるグローバル人材を高専で育てていこうという試みです。もちろん、本校でも、次代のリーダーに相応しい、喫緊の課題に真正面から向き合うことのできる技術者やビジネスパーソンを育成していこうと、さまざまな活動を実施しています。

本校の国際交流センターは、このような活動を支援する拠点組織として整備され、意欲的な取り組みを行っています。世界的視野と国際社会に通用する国際性やコミュニケーション能力を持った学生を育成すること、教職員の国際性向上を図ることを目的に、教育や研究における一層の国際化を推進しています。語学教育の充実や、海外からの短期留学生の受入、日本人学生の語学研修や海外インターンシップへの支援を積極的に行っています。さらに、国際学術交流協定を締結した海外の大学や地域企業などと連携して、国際シンポジウムの開催、国際共同研究の実施も推進しています。当センターでは、地域に根ざしつつ、国際的な視野を持った専門性の高い人材の輩出に貢献したいと願っています。



英国・北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ(SERC) 卒業式における石原外美本校校長への客員教授称号授与



三二国際会議の開催

■研究高度化推進室

7 主要施設

■ 図書館情報センター

図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、学習・教育・研究等のため、本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約76,000冊と雑誌約850種、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約79,000冊と雑誌約970種を備えています。電子ジャーナルについても両キャンパスで10,000タイトル以上提供しています。図書館内には、英語多読本コーナー、就職・進学支援のための資格試験問題集コーナー等が設置してあるほか、DVD等の視聴覚資料も利用できます。

また、本校学生・教職員以外の一般の方々への開放も行っております。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学業期間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
休業期間	月曜～金曜 8:30～17:00	月曜～金曜 8:30～17:00
	土曜 休館	土曜 休館

情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、300台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っています。

情報センターは放課後も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館・情報センター外観

射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



図書館外観

臨海実習場、練習船若潮丸

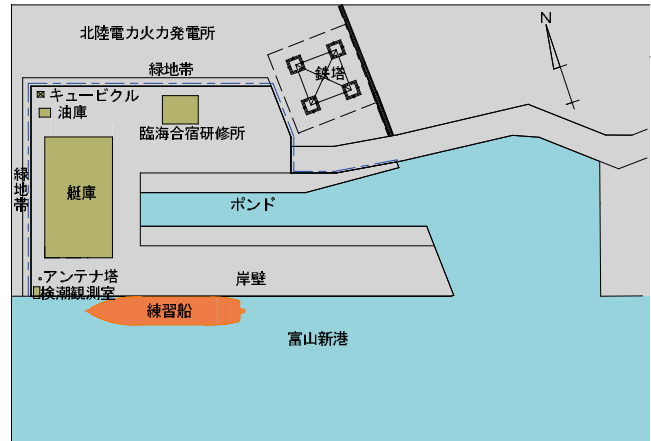
射水キャンパス

臨海実習場（射水市堀江千石6番4）

平成27年3月、射水キャンパスから3キロメートル離れた、射水市堀江千石6番4に移転・新築いたしました。富山新港（伏木富山港新湊地区）東端の北側に位置しており、国道415号線の中野口交差点付近に進入口があります。敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮棧橋などを備えています。

主に商船学科の実習に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。

艇庫には講義室や技業室のほか、実験用・研究用の観測機器や海洋系教育に必要な多数の模型、救命艇、ヨット、カッター（端艇）などを保有しています。



臨海実習場配置図



若潮丸と臨海実習場



若潮丸全容

練習船「若潮丸」

資 格：近海区域 第4種船

主要寸法：全長53.59m 幅10.00m

総トン数：231トン

航海速力：12.50ノット

航続距離：2,700海里

主 機 関：中速ディーゼルエンジン

1,300ps×390rpm 1基

主機プロペラ 4翼可変ピッチ

バウスラスター 1台

スタンスラスター 1台

最大搭載人員：乗組員9名、教員3名、学生44名、計56名

竣工年月日：平成7年9月14日

ポンド内係留船舶

□ 実習艇さざなみ

主要寸法：全長16.00m 幅4.10m

総トン数：15トン

航海速力：20.5ノット

最大搭載人員：乗員2名、教員3名、学生20名、計25名

竣工年月日：平成3年3月3日

□ 実習船わかしお3号

主要寸法：全長7.90m 幅2.64m

総トン数：4.2トン

速 力：23.0ノット

最大搭載人員：乗員2名、その他10名、計12名

竣工年月日：平成10年3月26日

艇庫内収容の舟艇

・実習艇ペがさす	1艇
・全閉囲型救命艇ジュピター	1艇
・救助艇ちどり	1艇
・実習艇いそなみ（エンジン付伝馬船）	1艇
・伝馬船	1艇
・カッター（端艇）	4艇
・ヨット	14艇

8 学生生活

■学校行事（平成28年度）

4

- 入学式
- クラブ紹介
- 新入生オリエンテーション

5

- 新入生合宿研修
- 高専祭（北斗祭）

6

- 高校総体
- 前期中間試験

7

- 北陸地区高専体育大会
- カッターレース大会
- 前期末試験

8

- 夏季休業（本郷～9月30日まで
射水～9月22日まで）
- 全国高専体育大会

9

- 商船学科卒業式

10

- 県外工場等見学
- ロボットコンテスト
- 就職ガイダンス

11

- 合同球技大会
- 企業研究会
- 後期中間試験

12

- 就職ガイダンス
- 冬季休業（～1月）

1

- 就職ガイダンス
- 推薦入試

2

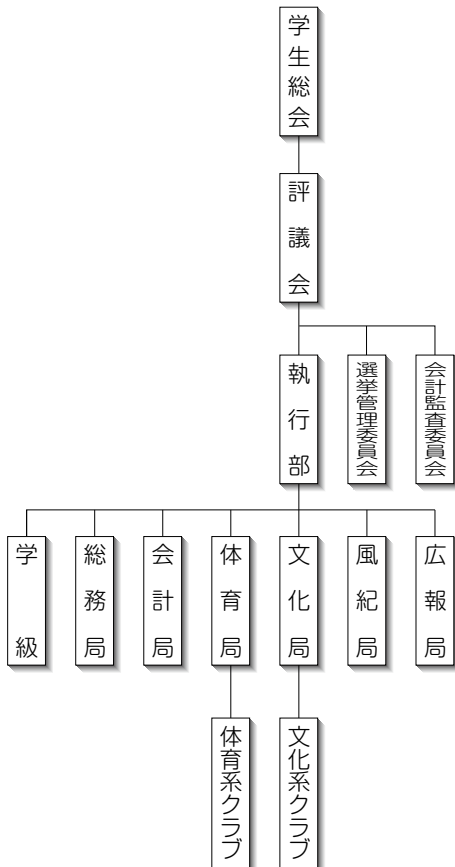
- 学力入試
- 学年末試験
- 卒業研究発表会

3

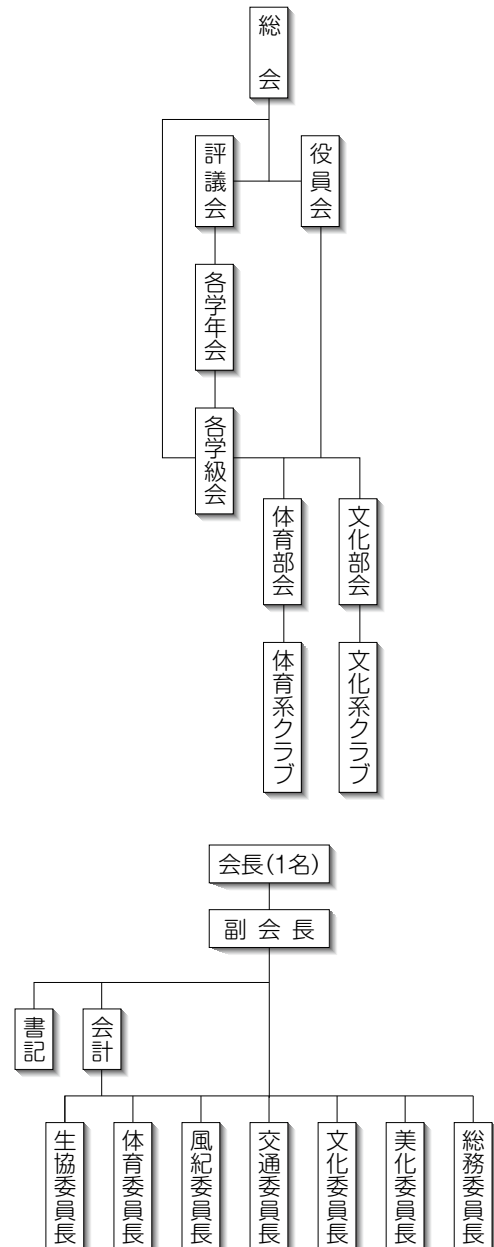
- 卒業式（商船学科を除く）

■学生会組織図

本郷キャンパス



射水キャンパス



■ クラブ活動

本郷キャンパス

体育系クラブ

陸上競技
サッカー
野球
柔道
弓道
剣道
バレーボール
バスケットボール
ラグビー・フットボール
バドミントン
テニス
ハンドボール
水泳
卓球
ソフトテニス

文化系クラブ

吹奏楽
メカテック
茶道
ピアノ
美術
軽音楽
写真
囲碁・将棋
鉄道



弓道



囲碁・将棋

射水キャンパス

体育系クラブ

ヨット
漕艇（カッター）
陸上競技
ラグビー
男子バスケットボール
女子バスケットボール
男子バレーボール
女子バレーボール
テニス
柔道
野球
サッカー
バドミントン

体育系同好会

卓球
剣道
水泳
フリースタイルダンス

文化系クラブ

新聞
デジタルメディア創作
吹奏楽
メカトロ技術研究

文化系同好会

茶道
軽音楽
ESS
美術
弦楽
日本舞踊
文芸
アントレプレナー研究
海王丸
機関学
書道
写真
航海学
創劇



メカトロ技術研究



漕艇（カッター）

福利厚生施設

本郷キャンパス

学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

合宿研修所

本研修所は、課外教育活動のための宿泊施設です。合宿研修に必要な集会室、浴室、自炊用具などがあります。学生と教員が寝食を共にして、健全な学生生活を送り、豊かな人間性を育むことを目的として使用されています。



学生ラウンジ



図書館前ロビー



合宿研修所

射水キャンパス

奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一 cornerに談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本会館隣接地には、創立7年目を迎える生協売店が福利厚生の充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

■ 学生相談室

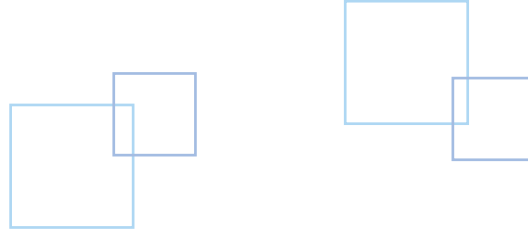
学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士）が配置されています。学校生活における様々な相談、学業・進路に関する相談、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題などにもスタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の場所と開室時間は以下の通りです。

本郷キャンパス			
学生相談室 (学務課の西となり)	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	火・水	カウンセラー	13:00 - 17:00
学 生 寮	第二火曜日	カウンセラー	17:00 - 21:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00
射水キャンパス			
学生相談室 (保健室のとなり)	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	月	カウンセラー	14:30 - 17:00
	水	カウンセラー	13:30 - 17:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00



学生相談室（本郷キャンパス）



学生相談室（射水キャンパス）

■ 学寮

学生の就学の便を図るため、学寮を設置しています。本郷キャンパスでは「**仰岳寮**」、射水キャンパスでは「**和海寮**」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風の醸成を目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。それらを通して学寮には、家庭にはない友人との語らいや先輩・後輩の付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

仰岳寮（本郷キャンパス）

平成28年5月10日現在

学 科	学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		11 (1)	11 (2)	9 (1)	10	11 (1)	52 (5)
電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科		12	9 (1)	13	8 (1)	10	52 (2)
物 質 化 学 工 学 科		10 (6)	8 (3)	14 (11)	10 (4)	11 (4)	53 (28)
エ コ デ ザ イ ン 工 学 専 攻							
合 計		33 (7)	28 (6)	36 (12)	28 (5)	32 (5)	157 (35)

() 内は女子学生内数

和海寮（射水キャンパス）

平成28年5月1日現在

学 科	学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
電 子 情 報 工 学 科		12 (3)	17 (6)	8	12 (6)	10 (3)	59 (18)
国 際 ビ ジ ネ ス 学 科		21 (16)	21 (18)	7 (4)	9 (6)	10 (6)	68 (50)
商 船 学 科		20 (7)	19 (3)	17 (3)	16 (2)	12 (3)	84 (18)
海 事 シ ス テ ム 工 学 専 攻							
制 御 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻							
国 際 ビ ジ ネ ス 学 専 攻		1					1
合 計		54 (26)	57 (27)	32 (7)	37 (14)	32 (12)	212 (86)

() 内は女子学生内数

9 地域社会との連携

■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員218社、個人会員18名です。

(平成28年5月1日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社／代表取締役社長

(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)

第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長

(任期：平成19年11月1日～平成21年12月)

第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長

(任期：平成21年12月14日～平成23年10月)

第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長

(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)

第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長

(任期：平成25年11月1日～平成27年11月2日)

第6代：濱 尚 朝日印刷株式会社／代表取締役社長

(任期：平成27年11月3日～現在)

技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

●講演会

- ・ダイキン工業㈱東京支社シニアスペシャリスト中浜慶和氏による「グローバル化時代における生産技術と人材育成」との演題で講演会(24.10.26)を開催
- ・富山高等専門学校長石原外美による「日本の未来を拓く人材育成について―大学・高専における最近の動向―」との演題で講演会(25.10.31)を開催
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構の紀聖治理事による「高専の新しい未来を切り拓くために～断絶的な環境変化に立ち向かう～」との演題で講演会(26.10.31)を開催
- ・YKK㈱取締役副社長(工機技術本部長)大谷渡氏による「富山県のものづくりの更なる強化に向けて」との演題で講演会(27.11.2)を開催

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- 学生インターンシップ事業の支援
- 会員企業と富山高専の教職員及び学生との交流の場の提供
- シニアフェローによる富山高専学生の教育・研究の支援
- キャリア教育支援
- 会員企業を学生に紹介する企業研究会
- 共同研究に関する助成



企業研究会



講演会

■公開講座（平成27年度実施）

講座名	開設分野	期間	受講対象者	募集人数
スマホアプリって自分で作れるの？	情報系	8/7(金)～9(日)	中学生	45
ロボットの頭脳とは ～LEGOを使ったプログラミング実験～	情報系	8/7(金)～9(日)	中学生	60
はじめての電子工作	情報系	8/7(金)～9(日)	中学生	30
モバイル端末で遠隔操作しよう	情報系	8/7(金)～9(日)	中学生	30
若潮丸体験航海と航海士、機関士の仕事の実際	商船系	8/7(金)～9(日)	中学生、保護者	80
船長・航海士と機関長・機関士の仕事を知る	商船系	8/7(金)～9(日)	中学生	40
異文化について学ぼう	人文系	8/7(金)～9(日)	中学生	60
English for International Communication (国際コミュニケーションのための英語)	人文系	8/7(金)	中学生	30
英語の発音入門 ～カタカナ英語からの脱却を目指そう！～	人文系	8/8(土)	中学生	25
国語の教科書を読みなおす ～「走れメロス」は盗作か？～	人文系	8/9(日)	中学生	10
『巨大ロボットの作り方』 —巨大ロボットは大地に立つか？—	機械系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	20
『体験!!3次元CAD(キャド)』 ～コンピュータでものづくり	機械系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	30
機械工学おもしろ記録会【卵を守れ】	機械系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	20
3Dプリンターでものづくり体験	機械系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	10
人型2足歩行ロボットを自由自在に動かそう	電気・電子系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	15
カメラを使ってロボットを自由自在に動かそう	電気・電子系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	15
雷センサーをつくらう	電気・電子系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	15
良い香りのする物質をつくりたい <私にもできるぞ！有機化学実験>	物質系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	16
食品のゴミから水をきれいに？ 世界の水問題に化学の力でチャレンジ！	物質系	8/8(土)～9(日)	中学生、保護者	16
コンピュータを組み立てよう	情報系	8/11(火)	中学生	10
技のしくみと力学	スポーツ系	8/18(火)～20(木)	中学生	80
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室～（研究成果の社会還元・普及事業）	物質系	11/7(土)	中学生	30

■出前授業・出前講座（平成27年度実施）

講座名	実施期日	該当教科・領域	実施場所	受講対象者
科学ものづくり教室	4月25日(土)	理科	テクノホール(富山産業展示館)	中学生、保護者
若潮丸見学	6月5日(金)	商船系	富山高等専門学校臨海実習場	幼稚園児
理科実験教室	6月14日(日)	理科	射水市立東明小学校	小学4年生、保護者、教員
親子で宝探し	8月1日(土)	理科	富山高等専門学校本郷キャンパス	小中学生、保護者
小学生野外研修におけるカッター体験講座	8月21日(金)	商船系	富山高等専門学校臨海実習場	小学4～6年生
電子教材（ロボトレイン）を活用した共同授業	11月12日(木) ～20(金)	電気・電子系	高岡市立国吉中学校	中学3年生

10 研究活動

■ 科研費採択状況

□ 文部科学省科学研究費助成事業

種 目	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
基 盤 研 究(A)	件 数	0	1	1	0	0
	金 額	0	16,640	11,700	0	0
基 盤 研 究(B)	件 数	1	1	1	1	1
	金 額	8,840	5,590	5,200	9,620	2,340
基 盤 研 究(C)	件 数	13	16	13	15	16
	金 額	16,770	25,090	20,540	23,140	28,210
挑 戦 的 萌 芽 研 究	件 数	1	2	1	2	5
	金 額	1,950	3,510	1,040	1,690	9,620
若 手 研 究(B)	件 数	3	5	7	7	7
	金 額	7,540	9,490	10,530	7,670	11,830
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	件 数	0	0	0	2	3
	金 額	0	0	0	2,080	3,510
特 別 研 究 員 奨 励 費	件 数	0	0	0	1	0
	金 額	0	0	0	1,233	0
奨 励 研 究	件 数	2	2	1	2	2
	金 額	1,200	1,200	600	1,100	1,100
合 計	件 数	20	27	24	30	34
	金 額	36,300	61,520	49,610	46,533	56,610

金額単位：千円 間接経費含む

■ 共同研究実施状況

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件 数	41	44	42	50	61
金 額	11,727	12,772	11,470	13,883	14,660

金額単位：千円

■ 受託研究実施状況

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件 数	14	18	11	11	10
金 額	18,530	23,040	26,163	32,685	28,553

金額単位：千円 間接経費含む

■ 寄附金受入状況

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件 数	27	21	20	746	356
金 額	17,119	20,257	14,859	38,071	30,909

金額単位：千円

国際学術協定校

韓国・慶熙（キョンヒ）大学との交流

平成24年2月16日、慶熙大学全学（韓国ソウル市および水原市）との学術交流協定を締結しました。

慶熙大学との学術交流は、平成18年2月に慶熙大学環境応用化学部（韓国水原市）との学術交流協定締結に始まり、慶熙大学全学部と学術交流協定を締結することにより、工学・ビジネス・商船の分野を網羅する本校全ての学科の学生交流と研究交流が可能となりました。

中国・東北大学との交流

東北大学（中国遼寧省瀋陽市）との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成15年12月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成22年10月に再調印しました。

東北大学は、中国でトップクラスの実力を有し、国家重点大学の一つです。

これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流、本校教員の長期海外研究員派遣、国際共同セミナーの実施等が行われています。

米国・ハワイ大学

カウアイコミュニティカレッジとの交流

平成21年10月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ（KCC）と協約書が交わされ、また平成22年11月には、商船学科を設置している4つの高等専門学校を加えて全国5高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

現在、本校学生がKCCにおいて国際インターンシップや英語圏異文化実習を受講する一方で、KCCの学生も本校へ短期留学するなど、盛んな交流を行っています。

英国・北アイルランド

サウスイースタン地区連合カレッジとの交流

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ（SERC）とは、平成22年3月に交流協定書に調印し、専攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教

員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校との交流

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キングモンクット工科大学ラカバン校（KMITL）とは、平成25年8月に交流協定書に調印し、短期留学生を相互に受け入れています。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施したり、年1回程度、国際共同セミナーを実施したりしています。

ハンガリー・科学アカデミー-Institute for Technical Physics and Materials Science、パズマニー・ペーテルカトリック大学およびブダペスト工科大学との交流

平成27年1月27日にハンガリー科学アカデミー-Institute for Technical Physics and Materials Science（MFA）、2月18日にパズマニー・ペーテルカトリック大学（PPCU）、6月11日にブダペスト工科大学（BME）との国際学術交流協定を締結しました。

各機関ともブダペスト市内にあり、MFAは欧州内でも研究レベルの高い機関として、ナノ材料やナノシステムなどの研究を行う学際的な研究機関です。PPCUは今年創立360年を迎えるハンガリー最古の大学の一つであり、現在は情報工学と生体工学を柱とした21世紀の産業を担う学術領域の立上げを目指しています。BMEは、ハンガリー最大の大学であり、世界中のトップ企業とも共同研究を進めている、学際性、国際性に優れた大学です。

今後、研究者および学生の交流を促進させ、連携を通じた本校の研究・教育の発展を目指します。

シンガポール・テマセクポリテクニク

およびナンヤンポリテクニクとの交流

両校とは、平成23年、25年にそれぞれ交流協定を締結しており、主として短期留学生の受入による交流を継続的に実施しております。

タイ・ランブーン農業技術カレッジとの交流

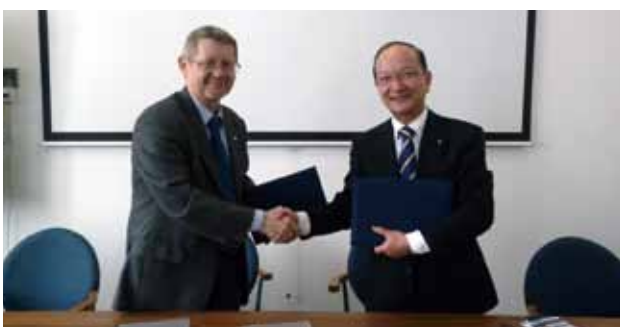
平成27年に交流協定を締結しました。本校の学生とペアを組み、タイにある日系企業でインターンシップを行う枠組みでの交流を実施しております。



慶熙大学学生と本校生の交流の様子



KCCでのカヌー実習



Istvan Barsony所長（左）・石原外美校長（右）（平成27年1月 MFAにて国際学術交流協定を締結）



SERCでのロボット制御実習

■海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成18年より開始されました。

海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

□1年留学プログラム

平成18年にカナダ西海岸のナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学附属高校（旧マラスピナ高校）との間に留学に関する協定を結び、平成20年4月より1年間の留学プログラムを実施しています。

□半年留学プログラム

平成17年に留学に関する協定を結び、平成18年4月より、国際流通学科（現・国際ビジネス学科）の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約5ヶ月の異文化体験と英語研修を行っています。



バンクーバーアイランド大学附属高校留学中の学生



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

□米国・ハワイ州国際インターンシップ

研修先 ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ
（平成21年交流協定締結）

対象 専攻科生（海事システム工学専攻）・本科3～5年生（商船学科）

期間 2～3週間

内容 ポリネシア伝統航海術等の海事技術研修・語学訓練

□英国・北アイルランド国際インターンシップ

研修先 現地企業・サウスイースタン地域連合カレッジ（平成22年交流協定締結）

対象 専攻科生（国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻）

期間 4週間

内容 国際ビジネス専攻：企業実習・カレッジでの専門講義（各2週間）
工学系専攻：語学研修・実務訓練（各2週間）

□東南アジア海外インターンシップ

研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人

対象 専攻科生・本科4年生

期間 2～3週間

内容 実務研修

□異文化実習

研修先 カナダ、韓国、台湾、ロシア、米国（ハワイ）の各教育機関

対象 本科3～5年生

期間 3～4週間

内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習

■短期留学受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成24年4月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成25年8月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

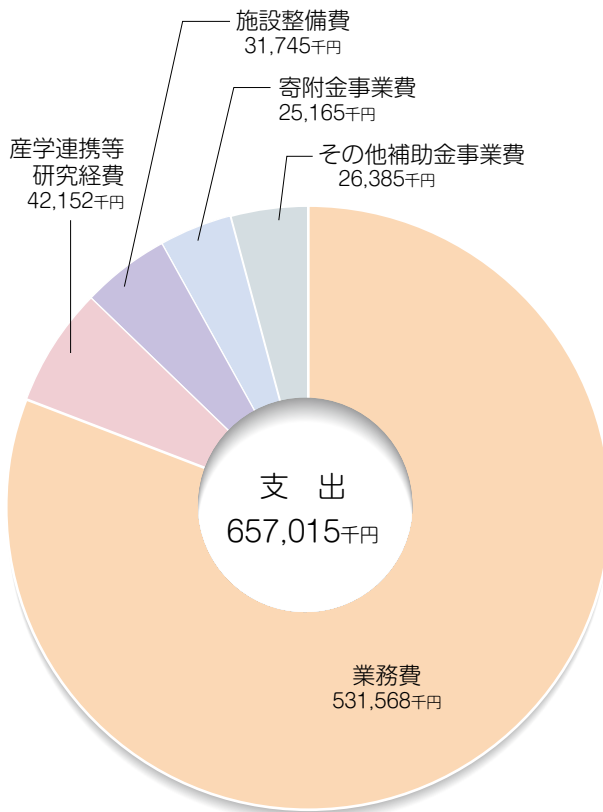
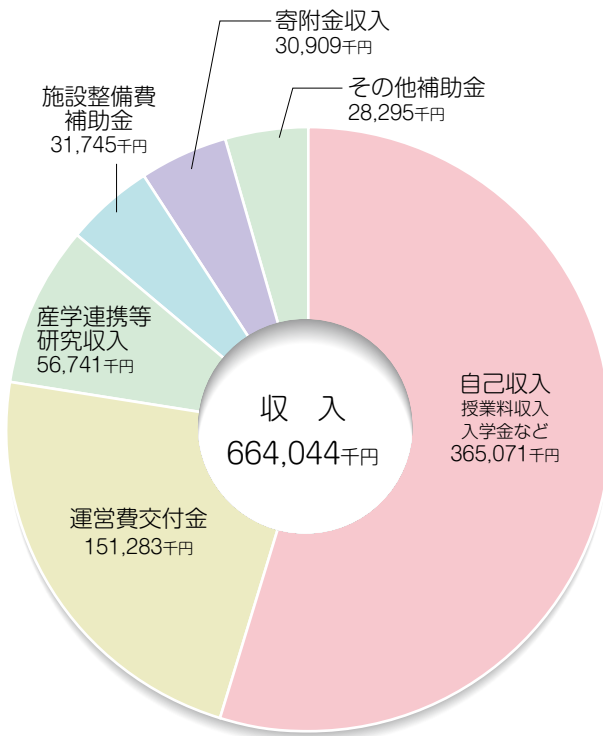
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニック及びナンヤンポリテクニックからも、短期留学生を受け入れています。



高専祭に参加している留学生

12 財務状況

平成27年度予算



施設

[本郷キャンパス]

区分	団地名	本郷団地	下堀団地	旭 団 地	計
土 地	校 舎 敷 地	55,472			55,472
	屋外運動場敷地	36,561			36,561
	寄 宿 舎 敷 地	12,535			12,535
	職員宿舎敷地	2,863	596	365	3,824
	合 計	107,431	596	365	108,392

(単位：㎡)

区分	団地名	本郷団地	下堀団地	旭 団 地	計
建 物	校 舎	13,973			13,973
	体 育 館	3,674			3,674
	寄 宿 舎	4,493			4,493
	図 書 館	1,633			1,633
	福 利 施 設	1,227			1,227
	管 理 部	1,483			1,483
	そ の 他	1,023			1,023
	設 備 室	245			245
	職 員 宿 舎 (戸数)	789 (12)	135 (2)	105 (1)	1,029 (15)
	合 計	28,540	135	105	28,780

(単位：㎡)

[射水キャンパス]

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
土 地	校 舎 敷 地	45,336		45,336
	屋外運動場敷地	41,703		41,703
	寄 宿 舎 敷 地	15,808		15,808
	実験実習地		11,232	11,232
	職員宿舎敷地	6,962		6,962
合 計	109,809	11,232	121,041	

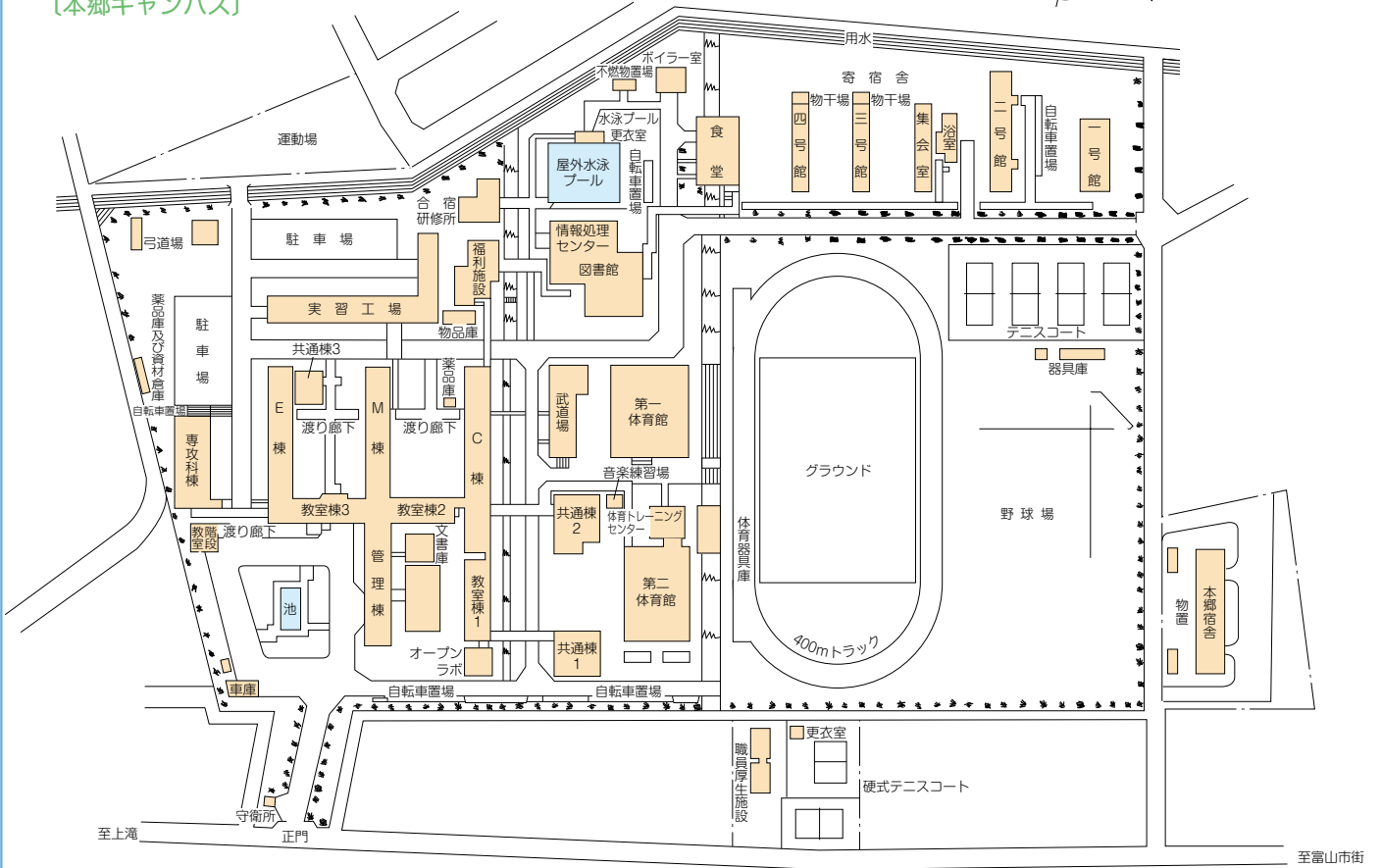
(単位：㎡)

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
建 物	校 舎	14,099	1,423	15,522
	体 育 館	3,031		3,031
	寄 宿 舎	7,029		7,029
	図 書 館	1,626		1,626
	福 利 施 設	1,347		1,347
	管 理 部	1,537		1,537
	そ の 他	996		996
	設 備 室	399		399
	職 員 宿 舎 (戸数)	974 (15)		974 (15)
	合 計	31,038	1,423	32,461

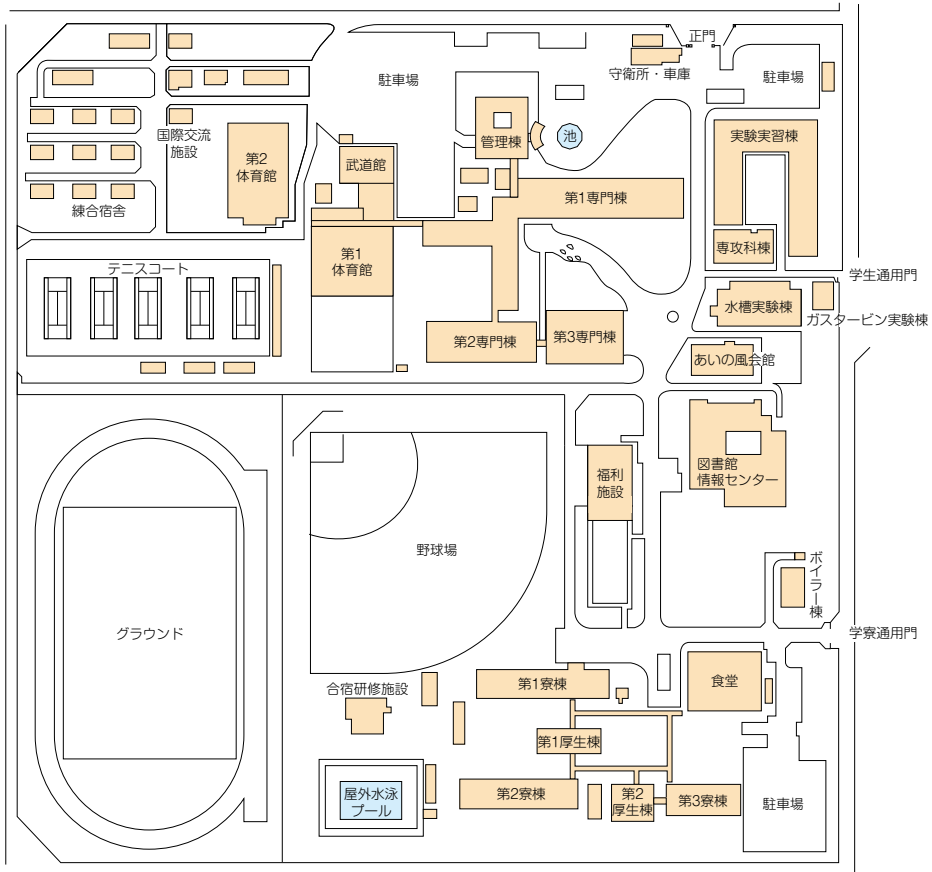
(単位：㎡)

■ キャンパスマップ

[本郷キャンパス]



[射水キャンパス]



臨海実習場の配置図はP35にあります。

13 在学状況

■学生の定員と現員

[本郷キャンパス]

平成28年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
機械システム工学科	40名	42 (3)	47 (3)	45 (3)①	33 (1)②	49 (3)①			216 (13)④
電気制御システム工学科	40名	60 (6)	49 (4)	44 (3)	42 (4)	36 (3)①			231 (20)①
物質化学工学科	40名	46 (21)	49 (30)	44 (28)③	41 (20)①	45 (20)			225 (119)④
エコデザイン工学専攻	24名						27 (2)	25 (3)	52 (5)
機能材料工学コース								1 (1)	1 (1)
合計		148 (30)	145 (37)	133 (34)④	116 (25)③	130 (26)②	27 (2)	26 (4)	725 (158)⑨

注1 ()内数字は、女子学生数を内数で示す。注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

[射水キャンパス]

平成28年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
電子情報工学科	40名	40 (10)	57 (13)	44 (11)①	44 (9)①	35 (9)②				220 (52)④
国際ビジネス学科	40名	45 (30)	51 (42)	41 (36)	36 (31)	46 (38)				219 (177)
商船学科	航海コース20名	23 (9)	23 (7)	20 (6)	19 (8)	17 (9)	18 (9)			120 (48)
	機関コース20名	21 (3)	19 (2)	19 (1)	17	19 (3)	22 (2)			117 (11)
制御情報システム工学専攻	8名							13 (1)	11 (2)	24 (3)
国際ビジネス学専攻	4名							3 (2)	7 (6)	10 (8)
海事システム工学専攻	4名							4 (1)	1	5 (1)
合計		129 (52)	150 (64)	124 (54)①	116 (48)①	117 (59)②	40 (11)	20 (4)	19 (8)	715 (300)④

注1 ()内数字は、女子学生数を内数で示す。注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

■出身地別在学生数

[本郷キャンパス]

平成28年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
富山県		143 (29)	136 (36)	125 (28)	111 (24)	127 (26)	26 (2)	25 (4)	693 (149)
宮城県						1			1
神奈川県			1 (1)		1				2 (1)
千葉県		1							1
新潟県			1						1
石川県		1	1	1					3
長野県				1					1
岐阜県		1 (1)	4		1		1	1	8 (1)
静岡県			1						1
愛知県				1 (1)					1 (1)
滋賀県			1	1 (1)					2 (1)
大阪府		2							2
マレーシア				4 (4)	2 (1)	1			7 (5)
モンゴル						1			1
インドネシア					1				1
合計		148 (30)	145 (37)	133 (34)	116 (25)	130 (26)	27 (2)	26 (4)	725 (158)

()は、女子で内数

[射水キャンパス]

平成28年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
富山県		116 (43)	131 (58)	116 (53)	103 (46)	103 (57)	33 (7)	19 (4)	19 (8)	640 (276)
岐阜県		1 (1)	1 (1)	1	2 (1)	1		1		7 (3)
宮城県		1				1				2
滋賀県		1 (1)								1 (1)
新潟県		1 (1)	4 (1)		2					7 (2)
青森県		1 (1)	2			2				5 (1)
石川県		5 (5)	1	3	2	4	2 (2)			17 (7)
長崎県		1								1
福島県		1	1 (1)			1				3 (1)
兵庫県		1								1
長野県			1		1					2
埼玉県			2							2
大阪府			1	1						2
北海道			1							1
山形県			1 (1)	1 (1)	1		1			4 (2)
三重県			1							1
神奈川県			1 (1)			2 (1)	1 (1)			4 (3)
茨城県			1 (1)							1 (1)
佐賀県			1							1
東京都				1	3 (1)	1				5 (1)
香川県					1					1
沖縄県							1			1
福井県							1			1
愛知県							1 (1)			1 (1)
カンボジア				1		1				2
スリランカ					1					1
マレーシア						1 (1)				1 (1)
合計		129 (52)	150 (64)	124 (54)	116 (48)	117 (59)	40 (11)	20 (4)	19 (8)	715 (300)

()は、女子で内数

14 進路状況

求人倍率も就職率も高いのが、富山高等専門学校の特徴です。産業界に高く評価され、卒業生・修了生は県内外の企業や官公庁で活躍しています。

また、卒業後は4年制大学の3年次（一部2年次）に編入学できます。本校をはじめとする高等専門学校の専攻科（2年制）にも進学できます。これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

〔本郷キャンパス〕

準学士課程（本科）

就職

機械システム工学科（2014年3月卒業までは機械工学科）

朝日印刷㈱	シーケー金属㈱	日本ゼオン㈱	山田工業㈱	出光興産㈱	D I C㈱	アイシン精機㈱	㈱モビテック
アステラスファーマテック㈱	シロウマサイエンス㈱	ファインネクス㈱	㈱陽進堂	花王㈱	東日本旅客鉄道㈱	中部電力㈱	アーケレイ㈱
SMK㈱	ゼオンノース㈱	富士安全硝子工業㈱	㈱リッチェル	K Y B㈱	日立化成工業㈱	三菱エンジニアリング㈱	関西電力㈱
㈱柿本商会	大洋エンジニアリング㈱	㈱不二越	リードケミカル㈱	川田工業㈱	富士重工業㈱	東レテキスタイル㈱	ダイキン工業㈱
キタムラ機械㈱	中越バルブ工業㈱	北電技術コンサルタント㈱	Y K K ㈱	独立行政法人国立印刷局	日本発条㈱	トヨタ自動車㈱	ダイハツ工業㈱
クラシエ製薬㈱	東洋ガスメーター㈱	北陸電気工事㈱	Y K K A P ㈱	㈱ジェイベック	田辺工業㈱	三菱重工業㈱	パナソニック㈱
三協立山㈱	富山化学工業㈱	北陸電力㈱	丸善石油化学㈱	㈱タマディック	㈱小松製作所(コマツ)	ムラテックCCS㈱	㈱大塚製薬工場
三晶M E C ㈱	日研プラント㈱	北陸発電工事㈱	ANAライオンメンテナンス㈱	㈱ツムラ			

電気制御システム工学科（2014年3月卒業までは電気工学科）

朝日印刷㈱	㈱KNB・F	日本レクトロエクスサービス	一般財団法人北陸電気保安協会	ジョンソンコントロールズ㈱	メタウォーター㈱	中部国際空港施設サービス㈱	ムラテックCCS㈱
アステラスファーマテック㈱	三晶M E C ㈱	㈱日本空調北陸	北陸電力㈱	㈱タマディック	矢崎総業㈱	中部電力㈱	アイフォーコム関西㈱
㈱アライドマテリアル	㈱シキノハイテック	日本ゼオン㈱	㈱ミスノマシナリー	東京電力㈱	㈱T S G	三菱エンジニアリング㈱	関西電力㈱
北日本電機産業㈱	J A なのはな	日本曹達㈱	Y K K ㈱黒部事業所	㈱フォーラムエンジニアリング	米沢電気工事㈱	東海旅客鉄道㈱	㈱きんでん
キタムラ機械㈱	㈱シンコー	富士化学工業㈱	ANAライオンメンテナンス㈱	富士重工業㈱	セイコーエプソン㈱	東レテキスタイル㈱	㈱日本触媒
協和マシソン㈱	立山マシン(立山科学グループ)	富山市役所	㈱N I T ファシリティーズ	㈱明電舎	出光興産㈱	日本特殊陶業㈱	㈱中央エンジニアリング
クラシエ製薬㈱	㈱東洋電機製作所	北陸電気工事㈱					

物質化学工学科（2014年3月卒業までは物質工学科）

朝日印刷㈱	協和ファーマケミカル㈱	立山製薬工場㈱	日本環境サービス㈱	㈱陽進堂	旭化成㈱	㈱ニッポンジーン	㈱カネカ
アステラスファーマテック㈱	クラシエ製薬㈱	テイカ製薬㈱	日本ゼオン㈱	燐化学工業㈱	アステラスファーマテック㈱	㈱ロキテクノ	関西電力㈱
㈱アライドマテリアル	㈱黒川製作所	東亜合成㈱	日本曹達㈱	Y K K ㈱	出光興産㈱	東燃ゼネラル石油㈱	ダイキン工業㈱
㈱ウメケン	金剛化学㈱	東亜薬品㈱	ファインネクス㈱	極東石油工業㈱	花王㈱	三菱化学㈱	㈱栃木天海堂
㈱開進堂楽器	三晶M E C ㈱	富山化学工業㈱	富士化学工業㈱	住友化学㈱	サントリービール㈱	ミスノテックス㈱	マルホ㈱
㈱片山製薬所	昭和電工セラミックス㈱	富山スガキ㈱	明治薬品㈱	D I C ㈱	㈱ツムラ	㈱堀場エステック	ユニチカ㈱
共栄製薬工業㈱	第一ファインケミカル㈱	日医工㈱	㈱ユニゾーン				

環境材料工学科（2014年3月卒業まで）

アイティオ㈱	協伸熱処理工業㈱	㈱サンエツ金属	立山電化工業㈱	ファインネクス㈱	Y K K ㈱	サントリープロダクツ㈱	トヨタケミカル(トヨタ)
朝日印刷㈱	㈱ロタニコボリューション	三協立山アルミ㈱	中越金鑄工㈱	㈱ミスノマシナリー	Y K K A P ㈱	日本乳剤㈱	サカタインクス㈱
旭産業㈱	㈱環境セミコンダクターサービス	三晶M E C ㈱	富山化学工業㈱	明希総合設備㈱	本田金属技術㈱	出光興産㈱	ユニチカ㈱
川田ニット㈱	コマツキャスト㈱	㈱スガキマシン	富山スガキ㈱	㈱陽進堂	エヌ・ティ・ティ・コムウェア		

進学 大学編入

機械システム工学科（2014年3月卒業までは機械工学科）

国立	富山高等専門学校専攻科	筑波大学	宇都宮大学	千葉大学	東京農工大学	横浜国立大学	新潟大学
長岡技術科学大学	富山大学	金沢大学	山梨大学	名古屋大学	豊橋技術科学大学	大阪大学	
私立	金沢工業大学						

電気制御システム工学科（2014年3月卒業までは電気工学科）

国立	富山高等専門学校専攻科	秋田大学	東北大学	山形大学	筑波大学	群馬大学	千葉大学
東京大学	東京工業大学	電気通信大学	新潟大学	長岡技術科学大学	富山大学	金沢大学	信州大学
名古屋大学	名古屋工業大学	豊橋技術科学大学	大阪大学	九州工業大学			
公立	高崎経済大学						

物質化学工学科（2014年3月卒業までは物質工学科）

国立	富山高等専門学校専攻科	室蘭工業大学	筑波大学	千葉大学	東京工業大学	東京農工大学	新潟大学
長岡技術科学大学	富山大学	金沢大学	信州大学	岐阜大学	静岡大学	名古屋大学	名古屋工業大学
豊橋技術科学大学	三重大学	京都工芸繊維大学	島根大学	岡山大学	広島大学	徳島大学	九州大学
私立	首都大学東京	私立	富山ビジネス専門学校				

環境材料工学科（2014年3月卒業まで）

国立	富山高等専門学校専攻科	東北大学	千葉大学	東京工業大学	新潟大学	長岡技術科学大学	富山大学
金沢大学	信州大学	岐阜大学	豊橋技術科学大学				
私立	日本工学院専門学校	大阪航空専門学校					

専攻科

就職

エコデザイン工学専攻機械・電気システム工学コース

朝日印刷㈱	シロウマサイエンス㈱	田中精密工業㈱	ファインネクス㈱	増山電業㈱	㈱ユニゾーン	三菱電機㈱	竹田設計工業㈱
㈱KANAYA	㈱スギノマシン	中越金鑄工㈱	㈱不二越	㈱ミスノマシナリー	㈱陽進堂	J X エンジニアリング㈱	日本車輻製造㈱
コーセル㈱	ゼオンノース㈱	富山県警察	北陸電気工事㈱	㈱宮本工業所	Y K K ㈱	ユースキン製薬㈱	㈱N I T ファシリティーズ関西
コマツNTC㈱	ダイヤ㈱	富山地方鉄道㈱	北陸発電工事㈱	明興工業㈱	アステラスファーマテック㈱	㈱小松製作所(コマツ)	三浦工業㈱
三光合成㈱	立山科学グループ	日東メディック㈱					

エコデザイン工学専攻機能材料工学コース

アールタチバナ㈱	川端鐵工㈱	㈱シンコー	中越金鑄工㈱	日本総合リサイクル㈱	北星ゴム工業㈱	㈱陽進堂	ユースキン製薬㈱
㈱アイザック	黒谷㈱	ダイヤ㈱	ティ・エス・ケイ㈱	阪神化成工業㈱	㈱北陸化成工業所	日本曹達㈱	東レテキスタイル㈱
アイシン新和㈱	㈱桑山	田中精密工業㈱	日医工㈱	富士化学工業㈱	㈱ミスノマシナリー	日本海洋掘削㈱	㈱日本触媒
㈱石金精機							

進学 大学院進学

エコデザイン工学専攻機械・電気システム工学コース

国立	東北大学大学院	福島大学大学院	茨城大学大学院	東京大学大学院	東京工業大学大学院	長岡技術科学大学大学院	富山大学大学院
金沢大学大学院	名古屋大学大学院	豊橋技術科学大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学	神戸大学大学院			
公立	大阪府立大学大学院	私立	立命館大学大学院				

エコデザイン工学専攻機能材料工学コース

国立	北海道大学大学院	福島大学大学院	東京工業大学大学院	長岡技術科学大学大学院	金沢大学大学院	北陸先端科学大学院大学	豊橋技術科学大学大学院
京都工芸繊維大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学	九州工業大学大学院	私立	早稲田大学大学院	立命館大学大学院		〔過去5年間の主な実績〕

[射水キャンパス]

準学士課程 (本科)

就職

電子情報工学科 (2014年3月卒業までは情報工学科)							
㈱NTTフィールドテクノ 小沢眼科医院 ㈱高志インテック 三晶MEC㈱ J Aなんと ㈱新日軽北陸 立山酒造㈱	東亜合成㈱ 富山県警察 ㈱富山第一銀行 ㈱不二越 ㈱ブルーコムブルー ㈱北銀ソフトウエア 北電情報システムサービス㈱	㈱北陸銀行 北陸コンピュータ・サービス㈱ 北陸電力㈱ Y K K ㈱ Y K K A P ㈱ ANAペーメンタンステクニクス㈱ アップフロンティア㈱	㈱アライズ ㈱アルファシステムズ 出光興産㈱ エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱ ㈱NTTデータ KDDIエンジニアリング㈱ ㈱シーイーシー	㈱DMM.com ラボ ㈱ドリリームアーツ 日本放送協会 (NHK) パナソニックシステムネットワークス㈱ ㈱日立国際電気 ㈱日立ビルシステム	美和ロック㈱ ㈱メイテックフィルタース ㈱モバイルファクトリー 三興コントロール㈱ 日揮㈱ 日アイ・エヌ・ソルトウエア㈱	セイコーエプソン㈱ 中部電力㈱ 東海旅客鉄道㈱ ㈱トヨタコミュニケーションシステム トヨタ自動車販売㈱ ㈱工ステンナイン京都	京セラ㈱ ㈱NTTネオオミイト ㈱NTTフィールドテクノ 東洋計器㈱ 西日本旅客鉄道㈱ ㈱大塚製薬工場

国際ビジネス学科 (2014年3月卒業までは国際流通学科)							
㈱アイザックトランスポート あいの風とやま鉄道㈱ 石友ホーム㈱ 伊勢湾海運㈱ キタムラ機械㈱ 国土交通省 コマツNTC㈱ コマツキャストックス㈱	㈱サブラ ㈱シー・イー・ピー(CAP) J A アルプス ㈱新日軽北陸 ㈱タイヨパッケージ 高岡市役所 タカノギケン㈱ 富山家庭裁判所	富山県庁 富山県警察 富山市役所 ㈱富山第一銀行 ㈱富山富士通 伏木海陸運送㈱ ㈱北陸銀行 北陸電力㈱	㈱ホテル黒部 ㈱マスオカ Y K K ㈱ Y K K ビジネスサポート㈱ 田中産業㈱ ㈱ホテルオークラ東京ベイ	㈱エージーピー ㈱イーチ・アイ・エス(H.I.S) 外務省 ㈱カネシマ ㈱グレイブストーン 経済産業省 国土交通省	国立国会図書館 財務省 スタック電子㈱ ㈱DMM.com ラボ 東京都 ㈱トリコム 内閣府	プリモジヤパン㈱ 法務省 財務省 ㈱東洋信号通信社 日本通運㈱ 厚生労働省 澁谷工業㈱	飛騨信用組合 海上保安庁国税庁 ㈱ジェイアール東海ホテルズ 名古屋高等裁判所 鴻池運輸㈱ ㈱エイゼンホールディング(JAC) フルーツランドサービス㈱

商船学科 (航海コース・機関コース)							
立山酒造㈱ 富山市消防局 ㈱フアブリカトヤマ ㈱不二越 ㈱フジテックス 北陸建工㈱ 北陸電気工事㈱ ㈱まちづくりとやま YKKビジネスサポート㈱ 大洋電機㈱	旭タンカー㈱ NSユナイテッド海運㈱ インターモルエン지니어リング 海上保安庁 川崎汽船㈱ 川崎近海汽船㈱ 山丸㈱ ㈱タイトーコーポレーション 東海汽船㈱ 東レ㈱	日本通運㈱ 日本郵船㈱ ヤンマーエネルギーシステム㈱ ㈱J-Oilシステムテクノロジ JXオーション㈱ 日本海洋事業㈱ 日本郵船クルーズ㈱ ㈱ボルテック 加賀建設㈱ 澁谷工業㈱	北電電機㈱ 福寿企業㈱ 出光興産㈱ 大岡技研㈱ ㈱グローバル・アシスト ジャパンリノユニテッド㈱ 新日本海フェリー㈱ ダイケン工業㈱ タイセル化学工業㈱ 富洋海運	太洋日本汽船㈱ ㈱岡本製作所 神原汽船㈱ 宇部興産海運㈱ ニッスイマリン工業㈱ 魚津漁業協同組合 ㈱シントミコーポレーション 富山県森林産品総合センター 北陸発電工事㈱ 津軽海峡フェリー㈱	エスオーシーマリン㈱ 秀和海運㈱ 商船三井㈱ 商船三井フェリー㈱ 昭陽汽船㈱ 一般財団法人新日本検定協会 スミセイ海運㈱ 第一中央マリン㈱ 太平洋フェリー㈱	日本海運㈱ 日本コソテナ・ターミナル㈱ 日本海曳船㈱ 公益財団法人日本船員センター 邦洋海運㈱ ㈱ユニエックス ㈱ウィングマリタイムサービス ㈱宇徳 ㈱三協	㈱東洋信号通信社 日本海洋事業㈱ 日本海曳船㈱ ㈱中セキ北陸 旭運輸㈱ 名港海運㈱ 太洋日本汽船㈱ 日本栄船㈱ 宇部興産海運㈱

電子制御工学科 (2014年3月卒業まで)							
あいの風とやま鉄道㈱ キタムラ機械㈱ ㈱クレオテクノロジ ㈱電機セミコンダクタサービス ㈱サンエツ金属 三協立山アルミ㈱	㈱サンコー シーケー金属㈱ ㈱新日軽北陸 立山酒造㈱ 東亜合成㈱ 日本エレクトロックスサービス	日本セック㈱ パナソニック㈱デバイス社 ㈱不二越 ビー・エフ・オートメーション㈱ 北陸興和産業㈱ 北陸電力㈱	北陸発電工事㈱ Y K K ㈱ ㈱M テック オムロフィールドエンジニアリング㈱ KDDIエンジニアリング㈱	㈱中央エンジニアリング 東芝エレベーター㈱ パナソニックシステムネットワークス㈱ ㈱日立ビルシステム	三井製糖㈱ 三菱電機ビルテクノサービス㈱ 山崎製パン㈱ 三興コントロール㈱ 富士通㈱	澁谷工業㈱ セイコーエプソン㈱ 中部電力㈱ 東海旅客鉄道㈱ 名古屋電機工業㈱	㈱ジェイムエンジニアリング 大阪ガス㈱ 関西電力㈱ 西日本旅客鉄道㈱ ㈱大塚製薬工場

進学 大学編入

電子情報工学科 (2014年3月卒業までは情報工学科)						
国立 長岡技術科学大学 京都工芸繊維大学 公立 首都大学東京	富山高等専門学校専攻科 信州大学 広島大学 公立 首都大学東京	筑波大学 富山大学 独立行政法人国立病院機構 私立 独立行政法人国立病院機構	宇都宮大学 金沢大学 金沢大学 公立 金沢工業大学	千葉大学 岐阜大学 公立 立命館大学	お茶の水女子大学 名古屋大学 電気通信大学 豊橋技術科学大学 新潟大学 滋賀大学	新潟大学 滋賀大学

国際ビジネス学科 (2014年3月卒業までは国際流通学科)							
国立 富山大学 神戸大学 私立 海外留学	富山高等専門学校専攻科 金沢大学 公立 上智大学 東北財経大学	筑波大学 北海道大学 信州大学 都留文科大学 帝京大学 オタワ大学	筑波大学 名古屋大学 大阪市立大学 中央大学	埼玉大学 三重大学 富山県立保育専門学校 専修大学	お茶の水女子大学 滋賀大学 富山県立総合衛生学院 金沢星稜大学	東京外国語大学 奈良女子大学 厚生連高岡看護専門学校 南山大学 関西大学	新潟大学 大阪大学

商船学科 (航海コース・機関コース)						
国立 公立 公立 海外留学	富山高等専門学校専攻科 富山県立総合衛生学院	東京海洋大学	長岡技術科学大学	富山大学	豊橋技術科学大学	神戸大学

電子制御工学科 (2014年3月卒業まで)						
国立 公立 公立	富山高等専門学校専攻科 京都工芸繊維大学	岩手大学 新潟工科大学	長岡技術科学大学	富山大学	金沢大学	信州大学 豊橋技術科学大学

専攻科

就職

制御情報システム工学専攻							
㈱カシイ ㈱電機セミコンダクタサービス 三協立山㈱ ㈱ソフト 立山科学グループ	富山トヨタ自動車㈱ 日本セック㈱ 日本ソフトテック㈱ ㈱不二越	㈱不二越情報システム 北電情報システムサービス㈱ ㈱北陸コンピュータフィックス 北陸通信工業㈱	北陸電機製造㈱ マブチモーター㈱ 旭化成㈱ ㈱NHKアイテック	大塚製薬㈱ ㈱OPT i M ㈱ドリリームアーツ 日本システムワープ㈱	㈱日立製作所 三菱電機㈱ 三菱レイオン㈱ 富士ソフト㈱	富士通㈱ ㈱ジエックホリウチ 美和ロック㈱ セイコーエプソン㈱	㈱NTTフィールドテクノ ㈱NTTホームテクノ ㈱NTTネオオミイト ㈱富士通関西システムズ
国際ビジネス専攻							
朝日印刷㈱ 立山科学グループ 津根精機㈱	豊富産業グループ 日清工業㈱ ㈱日本オープンシステムズ	㈱不二越 ㈱不二越情報システム ㈱北陸銀行	㈱北陸コンピュータフィックス ㈱北陸電機商会 北陸発電工事㈱	㈱前田富田不動産サービス 丸栄運輸機工㈱ Y K K ㈱	信越化学工業㈱ ㈱ピラミッドフィルム ㈱ライバンステクノロジー	㈱SEALS ㈱P F U フカカイ・タナシヨナル・フー	リゾートトラスト㈱ ㈱NTTネオオミイト
海事システム工学専攻							
飯野海運㈱ 国土交通省	日本通運㈱ 日本海洋掘削㈱	独立行政法人航海訓練所 ㈱東洋信号通信社	日本海洋事業㈱	三徳船舶㈱	寺崎電気産業㈱	ヤンマーエネルギーシステム㈱ ㈱エー・エー・エー	

進学 大学院進学

制御情報システム工学専攻						
国立 公立	長岡技術科学大学大学院 北陸先端科学大学院大学	豊橋技術科学大学大学院	公立 大阪府立大学大学院			

国際ビジネス専攻						
国立 公立	上越教育大学大学院					

海事システム工学専攻						
国立 公立	東京海洋大学大学院					

[過去5年間の主な実績]

■ アクセスマップ



本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13
 TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス/富山駅南口バスターミナル5番乗り場から「国立高専(朝菜町経由・下堀経由)」行きに乗車～約30分～国立高専前[終点]下車、徒歩0分
- 電車/電鉄富山駅からの場合
 「岩峯寺」行きに乗車～約14分～小杉駅下車、徒歩15分
 岩峯寺駅からの場合
 「電鉄富山」行きに乗車～約15分～布市駅下車、徒歩15分

射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2
 TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス/富山駅南口バスターミナル3番乗り場から「新港東口」行きに乗車～約30分～「練合」下車、徒歩2分
- 通学バス/東富山駅、富山駅、呉羽駅、小杉駅、高岡駅や新湊方面から通学バス(有料)を朝夕に運行
- コミュニティバス/射水市のコミュニティバスも利用可

<http://www.nc-toyama.ac.jp>